



DESIGN AND CREATIVE CENTER KOBE

KIITO Documentary Book 2012

ひと、まち、せかいの、センターになる。

デザイン・クリエイティブセンター神戸

Destined to Become a Center for People, the City, and the World -
Design and Creative Center Kobe

August 8, 2012 → March 31, 2013

0	イントロダクション Introduction	01
1	KIITOについて About KIITO	08
2	プロジェクト Projects	20
3	スペース Spaces	52
4	データ Data	60



みんなが
クリエイティブになる。
そんな時代の中心になる。

神戸で暮らす人や働く人。子どもや、若者や、大人たち。
そんなすべての人が集まり、話し、つぎつぎに何かを生みだしていく場所。
それがデザイン・クリエイティブセンター神戸です。
一部のアーティストやデザイナーだけでなく、
さまざまな人や世代が交流し、そこから生まれるアイデアや工夫で
新しい神戸をつくっていく。
その「実践」が積み重なれば、じぶんの街への愛着が増し、
街そのものにも個性が生まれ、やがては神戸の経済もより元気になっていく。
人がクリエイティブになること。街がクリエイティブになること。
この場所が、そのための中心地となること。
近い将来、日本や世界のまちづくりのお手本になるために、
神戸三宮の地で、かつてない試みが動き出します。

ひと、まち、せかいの、センターになる。
デザイン・クリエイティブセンター神戸

A Center Destined for a Central Role to Drive an Era of Creativity within All.

Kobe is a city in which people of all ages live, work and play.
It is also home to a special place where everyone - whether child, teenager or adult - can gather together, converse, and create new things again and again.
This place is the Design and Creative Center Kobe (KIITO).

From now on, building Kobe's future will depend not only on a select group of artists and designers but also on the ideas and devices born from interaction between different kinds of people of various generations. As this form of interaction grows and gains momentum, our citizens' attachment to their home city will increase, individuality will thrive and, before long, manifest itself in the economic improvement of Kobe. Both individuals and the city itself will become more creative with KIITO playing a central role to drive this dynamic.

In the near future, starting within Kobe's Sannomiya area, an unprecedented attempt will be made to turn Kobe into a role model for urban development, both for Japan and for the wider world.

Destined to Become a Center for People, the City, and the World -
The Design and Creative Center Kobe





1

KIITOについて **About KIITO**

- デザイン・クリエイティブセンター神戸 センター長 メッセージ
- デザイン・クリエイティブセンター神戸 副センター長 メッセージ
- KIITOにいたるまでの歴史
- 館内アイコン・ロゴ
- 事業概要





創造の現場をつくりだす。

デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）は、デザイン都市・神戸の創造人材の育成・集積・交流の拠点と位置づけられている。

そのため、市民の多様な創造活動、発表活動に広く場を提供したり、クリエイティブラボ（レンタルオフィス）事業などを行っているが、社会に対して本センターの姿勢を明確に示すために、さまざまな自主企画事業も展開している。そこでは、民間では取り組みににくい社会的、教育的、あるいは実験的な試みに力を入れようと考えている。

具体的には、クリエイティブ力によって、さまざまな社会的課題を取り組むことを自主企画の基本に置く。社会的課題を創造的に解決しようとする多様なセミやワークショップが開催され、これが自主事業の中核を成すが、こうした問題解決型のアプローチだけでなく、問題発見型のアプローチも並走せていることも強調しておこう。満足を深めるこの時代、そもそも何が問題なのかもわからない場合が多々あるからである。このような観点から、神戸という場所でアーティストや独自の視点を持つ専門家とともに再発見していく「アーティスト・イン・レジデンス」や「神戸スタディーズ」、未来を見出すための「未来のかかけらボ」といった事業も展開しているわけだ。

しかしながら言えは、こうした自主企画事業を展開する基本的な目的は、このKIITOを創造の現場そのものにすることである。私見たが、新たなプロジェクトを生み出すプロジェクトこそが、創造的なプロジェクトと言える。KIITOの全活動を通して、ここから独自のプロジェクトがさまざまに芽がだされていくことを願っている。

芹沢 高志 Takashi Serizawa

デザイン・クリエイティブセンター神戸 センター長

1961年東京生まれ。神戸大学理学部数学科卒業、横浜国立大学工学部建築学科卒業。東京・四谷の禅寺、東長寺の新築監修設計団に参加したことから、89年にP3 art and environmentを開設。こから国際現代アート展「デメテル」の総合ディレクター（2002）、アサヒ・アート・フェスティバル事務局長（2003～）、横浜ドリームセンター2005キュレーター、別所現代美術フェスティバル（渋谷温泉世界）企画ディレクター（2009、2012）。現在P3 art and environment総合ディレクター（ビースリーマガメント有限会社代表取締役）。



"既存"を超える力を生みだす。

「デザイン・クリエイティブセンター」と聞いて多くの市民は自分たちとは無関係なデザイナーやアーティストのための施設だと考えているのではないだろうか。「市民ひとりひとりがクリエイティブになる」ことをめざしてオープンした本センターに課せられたミッションは、この固定概念からの脱却であった。その代表的な取り組みの一つが、市が抱える様々な社会的課題をクリエイティブの力で解決する、「+クリエイティブゼミ」である。このゼミでは、これまでの「福祉」「防災」「観光」「まちづくり」など多様な分野の課題を取り上げ、公募で集めた各回 30人以上のゼミ生たどりサーチ、議論を重ね、課題解消のためのアクションプランを提案してきた。これまでのゼミの成果は、ゼミ生の多彩な顔ぶれと併せて生まれた提案の事業化である。ゼミ生は、大学生や主婦、会社員、クリエイターなど多様で、彼らはそれぞれの目線で課題を見つめ、様々な角度から議論を行っている。既存の社会には存在しないこの貴重な場から、既成概念では決して生まれない新たな提案が次々と生まれ出されている。そして、それらの多くが事業化し、また、事業化に向けて動き出しているという事実も特筆すべきことである。山積している社会的課題は、マンネリ化した既存のやり方ではどうにもならず、これを打破し、ブレイクスルーできる提案がこのゼミから今後も生み出されるはずである。今後のこのゼミに、もっと多くの意識の高いクリエイターが参加し、広義の「クリエイティブ」の力、つまり既成概念を捉められない自由な発想やアイデアに加え、強度を持ったアートやデザインの力が注入され、もっと多くの社会的課題が解消されることを願っている。

永田 宏和 Hirokazu Nagata

デザイン・クリエイティブセンター神戸 副センター長

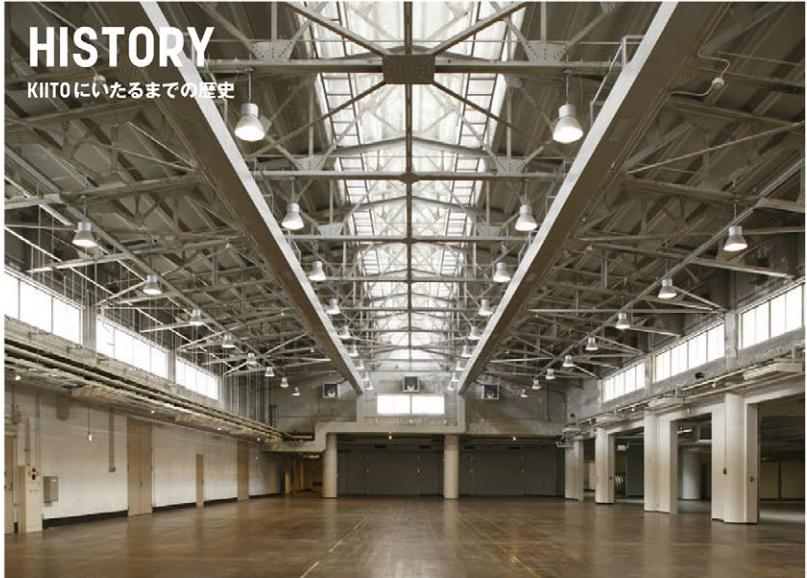
1968年兵庫県生まれ。企画・プロデューサー。1993



年大阪府立大学院修士課程修了、大阪建設会社勤務を経て、2001年「top 郡部文化創造研究所」を設立。2006年「NPO法人アーバス・アーツ」設立。2012年8月よりデザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）の副センター長を務める。主な企画・プロデュースの仕事に、「水都大震 2009・水辺の文化座」、「イザカヤルキヤランバ」（2005～）、「海産EXPO」（2006）、KIITOオープニングイベント「ひびごうべ」（2012）などがある。

HISTORY

KIITOにいたるまでの歴史



1927年に輸出生糸の品質検査を行なう施設として、ゴシックを基調とした神戸市立生糸検査所（旧館）が建築された。1932年には園に移設し、国立生糸検査所（新館）が東に建て増しされ、神戸港の生糸の輸出は、大正から昭和初期にかけて最盛期を迎える。

この施設でかつて生糸の品質検査を行なっていた歴史にちなみ、デザイン・クリエイティブセンター・神戸はKIITO（きいと）という愛称で呼ばれている。

The former Kobe Raw Silk Testing Center (the Old Building) was constructed in 1927 to a design based on a Gothic style of architecture. It was built as a facility for inspecting the quality of raw silk for export.

In 1932 the building was transferred to state ownership and an annex, the former National Raw Silk Testing Center (the New Building), was constructed to the east of the Old Building. The export of raw silk from the Port of Kobe reached a peak during the Taisho and the early Showa eras (about 1910-1935).

Remembering the facility's original function as a place to assess the quality of raw silk, the new center has been nicknamed "KIITO," meaning "raw silk" in Japanese.

近代日本の産業や文化を輸出するための重要な拠点だった生糸検査所は、その後役割を終えたが、また新たに、一時代を築いたまちや文化を継承し、新しい価値を生み出す創造の場となる。

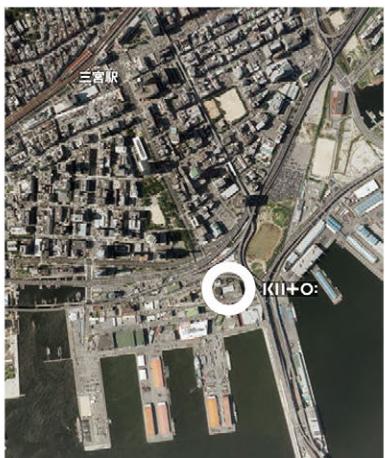
2008年に、神戸市がユネスコ創造都市ネットワークのデザイン都市に認定され、その創造の拠点として、デザイン・クリエイティブセンター・神戸（KIITO）を2012年8月に設立した。

KIITOは、デザインを人々の生活に取り入れ、より豊かに生きることを提案し、神戸だけではなく世界中をつなぐ、デザインの拠点となることを目指す。

And now today, many years after the role of this important base for exporting modern Japanese industry and culture has ended, these buildings have become a place for passing on Kobe's cultural legacy from the era of the Raw Silk Testing Center, as well as for creating brand new value.

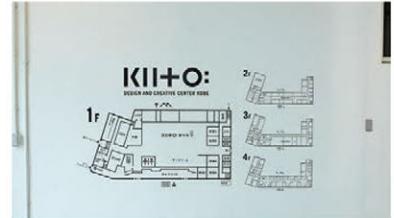
In 2008, Kobe City was designated as a City of Design under the UNESCO Creative Cities Network. Then, in August, 2012, the Design and Creative Center Kobe (KIITO) held its grand opening as a base for the creation of design in Kobe.

KIITO proposes the introduction of more design into the everyday lives of our people so that we can all enjoy more enriched forms of living. Additionally, KIITO is aiming to function as a design base that connects both with Kobe and with the wider world.



ICON & LOGO

館内アイコン・ロゴ



KII+O:
I K I I + O :
< + - × > ♀ ♂ ↗
♪ ☺ ! ☎ ☎
○○○ ○○○ ○○○



寄藤 文平 Bunpei Yorifuji
アートディレクター（文平銀座）



KII+Oは、その目的がハッキリしているのでロゴマークは作りやすいと感じた。ロゴマークはいろいろな想像力をはたらかせるためのクリエイティブエレメントとして考えた。

KII+Oに行った時、その空間の巨大さに驚いた。この巨大な空間を生かすためには、それだけの巨大な想像力が必要だろう。

神戸の港から、世界まで、より大きなスケールの中でKII+Oが働いていくのを楽しみにしている。

OUTLINE

事業概要



4つの活動方針 Four Activity Policies

- +クリエイティブの実践の場をつくる。
 - +クリエイティブの担い手をつくる。
 - +クリエイティブの交流の場をつくる。
 - +クリエイティブな情報発信とネットワークを広げる。
- Make a place for practicing +Creative.
Cultivate +Creative leaders.
Make a place for +Creative exchange.
Disseminate +Creative information and networking.

キーワード Key Word

➤ +クリエイティブ +Creative

+Creative

+クリエイティブとは、デザインやアートなど既成概念にとらわれないアイデアや工夫を取り入れ、身の周りの社会的問題を解決していく手法を意味する。

+Creative is a method for solving social problems within our communities by introducing new ideas and challenging - indeed surpassing - preconceived concepts about design and art, etc.

設立 Establishment

2012年 8月 8日
開館時間 11:00 -19:00
月曜休館／入館無料

August 8, 2012
Opening hours: 11:00-19:00
Closed on Mondays/ Admission free

スペース Space

敷地面積 8,601m²
延床面積 13,779m²

Site area: 8,601m²
Total Floor space: 13,779m²

アドレス Address

〒 658-0082
兵庫県神戸市中央区小野浜町 1-4

1-4 Onohama-cho, Chuo Ward,
Kobe, Hyogo Prefecture, 658-0092 Japan

2012

8月 August

8/8 設立

9月 September

9/4 KIITalk KII TO Bar

10/6-16 KII TOオープニングイベント

- 10/6-16 CREATIVE WORKSHOP ちびっこべ
- 10/6-16 Mini munchen ミニ・ミュンヘン-die alternative Stadt. もうひとつの都市- Ver.2 連続上映会
- 10/7,8 Cafe
- 10/10 オープンKII TO ツアー
- 10/11 KIITalk 「KII TOオフィス入居者の大プレゼンテーション会」
- 10/12 +クリエイティブレクチャー「グローバル時代のジャパンクリエーション」
- 10/12, 13 The Creative Time 2012 中継上映会
- 10/16 +クリエイティブレクチャー「トークセッション: KII TO の未来を紡ぎだす」
- 10/6-12/28 展示「いつものもしも 2012」

10/6-12/24 CAP SPOT 01

- 10/27-11/4 第7回金の羽オールスター デザインショーケース KII TO巡回展
- 11/2 トークイベント

11月 November

11/6-1/15 +クリエイティブゼミ vol.1 医療福祉編 全10回

12/11-14, 1/16-20 KII TOアーティスト・イン・レジデンス 2012 水川千春 公開制作

- 12/16 アーティスト・トーク
- 1/26-2/8 成果発表展「地をあぶる」

12月 December

- 12/12-3/13 +クリエイティブゼミ vol. 2 デザイン編 全10回
- 1/30 特別講座「地方におけるグラフィックデザイナーの仕事って?」
- 2/20 特別講座「デザイナーだから出来る可能性」
- 3/14-20 作品展

2013

1月 January

1/1 KIITalk プレゼンテーション新年会編

- 1/12, 13, 2/2 未来のかけらラボ vol.1 ~パックミンスター・フラー再考~
- 1/17-27 東日本大震災復興支援プロジェクト「つくることが生きること」神戸展
- 1/22-3/26 +クリエイティブゼミ vol. 3 まちづくり編 全10回

2/9 +クリエイティブレクチャー「くりかえし原点、くりかえし未来。」

- 2/11 かえっこバザール in KOBE by チャイルド・ケモ・ハウス
- 2/13 神戸料理フォーラム OPENING Talk & Party
- 2/15-3/3 展示「齊藤文平の“冬にやる”夏の一研究」

- 2/16 +クリエイティブレクチャー「絵と言葉のレクチャー」
- 2/16 +クリエイティブワークショップ「絵と言葉のワークショップ」

2/21 MUJI+クリエイティブゼミ「Found MUJI 神戸」

- 2/22 KIITalk+クリエイティブレクチャー「クリティカル・デザイン」
- 2/22-28 成果発表展「BODY FUTURES」

2/23 神戸スタディーズ#1「神戸レイヤーマッピング」

3/16 KII TO×Re:Studio ワークショップ「編集を学ぶ かべ新聞部」

- 3/17 ものづくりワークショップ「自分で味噌をつくろう」

3/19 神戸料理フォーラム vol.1 「料理人 福本伸也」

3/22 MUJI+クリエイティブゼミ 特別レクチャー「地域に寄り添うMUJI」

- 3/23 ものづくりワークショップ「木のスプーンをつくろう」

3/24 ものづくりワークショップ「CASAでコースターをつくろう」



2

プロジェクト Projects

- はじまりー KIITOオープニングイベント
- デザインで解決する
- きく
- はなす
- つくる
- あじわう
- 神戸へ
- ネットワーク



子どもの創造力を育むCREATIVE WORKSHOPちびっこべを主軸に、
レクチャー、トーク、ツアーなどKIITOのグランドオープンを飾る、子どもや大人も楽しめる
多彩なプログラムを実施。「KOBEデザインの日」記念イベントとして11日間にわたり開催した。

→ KIITO Opening Event

The Creative workshop Chibikobe which encourages children's creativity was one of the main events in the KIITO opening event. Not only children but also adults enjoyed various events, such as lectures, talk sessions and the like. The 11-day event held as Kobe design Day Event.

KIITOオープニングイベント 10/6(Sat) - 16(Tue)

- 10/6-16 CREATIVE WORKSHOP ちびっこべ
- 10/10 オープン KIITO ツアー
- 10/11 KITalk - KIITO オフィス入居者の大プレゼンテーション会 - [P39]
- 10/12 カリエイティフレクチャー「金井政明「グローバル時代のジャパンクリエーション」」[P38]
- 10/16 カリエイティフレクチャー「トークセッション：KIITOの未来を紡ぎだす」[P38]
- 10/12-13 The Creative Time Summit 2012 中継上映会
- 10/6-16 mini munchen ミニ・ミュンヘン -die alternative Stadt もうひとつの都市-
- ver.2 連続上映会 10/6(Sat)-16(Tue)
- 10/6-12/28 いつものもしも 2012 -展示-

来場者数：10,000名

後援：読売新聞大阪本社、神戸市教育委員会、神戸商工会議所

協力：株式会社光陽社、サラヤ株式会社、株式会社七社社、協栄印刷株式会社



→ Cafe 10/7(Sun), 8(Mon)

サ・マーシュ西川功晃シェフプロデュースのもと 2日間のみオープン。

→ オープン KIITO ツアー 10/10(Thu)

ツアード建物を巡り、生糸検査所時代の什器や検査方法、デザインセンターになるまでの経緯を紹介した。

→ The Creative Time Summit 2012

中継上映会 10/12(Fri), 13(Sat)

ニューヨークを拠点に活動するアートNPOのCreative Timeが主催する、「アートは社会をどのように変えるのか」をテーマとして開催されたグローバル会議 The Creative Time summit を中継上映した。

→ mini munchen ミニ・ミュンヘン

-die alternative Stadt もうひとつの都市-
ver.2 連続上映会 10/6(Sat)-16(Tue)

[制作・企画・編集：ミニ・ミュンヘン研究会（代表：卯田義夫）発行：萌文社]

CREATIVE WORKSHOPちびっこべのモデルとなったドイツで開催されているイベント、ミニ・ミュンヘンのドキュメンタリーフィルムを連続上映。夏休みの期間中だけオープンし、7歳から15歳の子どもが自ら運営する「小さな都市」がどのように実施されているのかを紹介した。



CREATIVE WORK SHOP CHIBIKKOBÉ

→ CREATIVE WORKSHOP ちびっこべ

10/6(Sat) – 16(Tue)

シェフ、建築家、デザイナーの3つの職業に分かれて、小学校3年生から中学校3年生の神戸の子どもたちと、各分野のクリエイターが、食をテーマに一緒にまちづくりを行う体験型プログラム。多くの神戸のクリエイターの協力を得て開催した。プロの仕事に実際に触れ、専門家から直接教わりながら、自ら考え、自分たちの手で子どもしかくることのできない夢のまちを創りあげた。

- 7/27(Fri), 28(Sat) オためちびっこべ+説明会
- 8/24(Fri)-9/23(Sun) 事前ワークショップ期間
- 10/6(Sat) 夢のお店の発表会&仕上げ
- 10/7(Sun), 8(Mon), 13(Sat), 14(Sun) 子どものまちオープン
- 10/9(Tue)-12(Fri), 15(Mon), 16(Tue) 子どものまち展示

ちびっこ夢ショップ
子どもだけのエリア。
15店舗が並び、様々な食べ物をキーツ紙幣で購入できる。

ちびっこマルシェ
神戸の食べ物を子ども大人も購入できるエリア。

ひろば
日替りで様々な仕事や遊びが出現する。

子どものまちができるまで
子どものまちができるまでの取り組みを展示で紹介します。

やぐら
ちびっこべのまちのシンボル。夢ショップの入り口。

ハローワーク
ここでは仕事を選んで、お仕事カードをもらい、それでの仕事を。

ぎんこう
仕事を終わった後、市民証を持って行き、仕事を終了スタンプを見せると給料が支給される。

インフォメーション
総合案内所。
当日サポートスタッフもここで募集。

ちびっこ学校
食に関連した授業を受けることができる。

ちびっこ学校
食に関連した授業を受けることができる。

協力クリエイター

シェフチーム	デザイナーチーム
吉川孝志（三重一貴場） 上野尚哉（玄米） 大下尚志（ヒアソニック） 大西達也（元町カーキ） 高橋和也（アーティスト） 藤田和也（アーティスト） 吉田和也（スニーカー） 青木圭史（スニーカー） 西川功司（サ・マーン） 林由平（パティシエ・コンピュリ） 鈴木亮（アーティスト） 平井玲奈（AVENUE） フジカワシベ（レストラン・シェフ） 根本伸也（カ・ビセト）	高橋圭祐（アトリエデザイン事務所） 井上哲也（アトリエデザイン事務所） 岡田直子（吉田直子建築設計事務所） 鶴岡真理子（鶴岡真理子建築設計事務所） 森山宏明（一級建築士事務所 atelier SOU） 小林千尋（アーティスト） 金野博志（KONO） 島田周（島田周建築設計事務所） 高史史郎（高史史郎建築設計事務所） 内藤信也（アーティスト） 高坂伸哉（アーティスト） 西野佳代（アーティスト） 西山久美子（西山久美子美術デザイン室） 山根博史（うたか）
菅原真衣（アトリエデザイン事務所） 井上哲也（アトリエデザイン事務所） 岡田直子（吉田直子建築設計事務所） 鶴岡真理子（鶴岡真理子建築設計事務所） 森山宏明（一級建築士事務所 atelier SOU） 小林千尋（アーティスト） 金野博志（アーティスト） 高史史郎（高史史郎建築設計事務所） 内藤信也（アーティスト） 高坂伸哉（アーティスト） 西野佳代（アーティスト） 西山久美子（西山久美子美術デザイン室） 山根博史（うたか）	高橋圭祐（アトリエデザイン事務所） 井上哲也（アトリエデザイン事務所） 岡田直子（吉田直子建築設計事務所） 鶴岡真理子（鶴岡真理子建築設計事務所） 森山宏明（アーティスト） 高史史郎（アトリエデザイン事務所） 内藤信也（アーティスト） 高坂伸哉（アーティスト） 西野佳代（アーティスト） 西山久美子（西山久美子美術デザイン室） 山根博史（うたか）
建築家チーム	アーティストチーム
菅原真衣（アトリエデザイン事務所） 井上哲也（アトリエデザイン事務所） 岡田直子（吉田直子建築設計事務所） 鶴岡真理子（鶴岡真理子建築設計事務所） 森山宏明（一級建築士事務所 atelier SOU） 小林千尋（アーティスト） 金野博志（アーティスト） 高史史郎（高史史郎建築設計事務所） 内藤信也（アーティスト） 高坂伸哉（アーティスト） 西野佳代（アーティスト） 西山久美子（西山久美子美術デザイン室） 山根博史（うたか）	菅原真衣（アトリエデザイン事務所） 井上哲也（アトリエデザイン事務所） 岡田直子（吉田直子建築設計事務所） 鶴岡真理子（鶴岡真理子建築設計事務所） 森山宏明（アーティスト） 高史史郎（アトリエデザイン事務所） 内藤信也（アーティスト） 高坂伸哉（アーティスト） 西野佳代（アーティスト） 西山久美子（西山久美子美術デザイン室） 山根博史（うたか）



ちびっこべ憲章

子どもたちの創造力を育む。デザイン・クリエイティブセンター神戸(KITTO)が掲げる、そのための教育理念を「ちびっこべ憲章」とします。シンボルイベントの「ちびっこべ」や、それに関連する子どもたちのためのワークショップでも、この理念が守られるよう、みんなで努力します。

- 1 子どもたちの考え方をなにより尊重し、みずから進んで取り組むための、ほの手助けをする。
- 2 クリエイティブな活動をするいろいろな人の出会いを大切にし、その知識や技にかけに触れてもらう。
- 3 「知る」「考る」「つくる」「伝える」という、じぶんで創造するための4つのプロセスを体験してもらう。
- 4 つくるという行為を通して、子どもたちの好奇心や情熱をさらに引きだし、育っていく。
- 5 年齢、性別のある子どもたちとの間わりの中から、チームワークの大切さをせしんと学んでもらう。

↓デザインで解決する

色や形で表されるデザインだけではなく、
デザインをより大きな視点でとらえ、新しいアイデアや工夫を探り入れた
+クリエイティブの手法を用い、社会的な課題を解決する方策を導きます。
小グループでディスカッションを行うゼミ形式のプログラム。
終了後も課題に対して継続的なサポートを目指す。

→ Design solves social problems.

A human resource development program to combat social problems through the power of creativity. This is a program in which project teams comprised of citizens; develop solutions for tackling various kinds of social problem through research and regular discussion. Through this process they have put forward some substantial proposals by tapping the power of creativity for design and new ideas.

○+クリエイティブゼミ

1/16(Tue)–1/16(Tue) 全 10 回

vol.1 医療福祉編

【小児がん専門治療施設「チャイルド・ケモ・ハウス」応援団員募集!!!】

永田 宏和（副センター長）

→ 2/11(Mon) かえっこバザール in KOBE by チャイルド・ケモ・ハウス

1/12(Wed)–3/13(Wed) 全 10 回

vol.2 デザイン編 【デザイナーをデザインする】

松岡 賢太郎 (TRITON GRAPHICS)

→ 1/30 (Web) 地方におけるグラフィックデザイナーの仕事って？

矢野 まさづく（オーブンエンズ）

→ 1/30 (Web) デザイナーだから出来る可能性

金谷 勉（セメントプロデュースデザイン）

→ 3/14 (Thu)–20 (Web) 作品展

1/22(Tue)–3/26(Tue) 全 10 回

vol.3 まちづくり編 【ニュータウンの「オールドタウン化問題」について考える。】

永田 宏和（副センター長）

○ 未来のかけらボ

1/21(Sat), 13(Sun), 2/2(Sat)

vol.1 【バックミンスター・フラー再考】

芹沢 高志（センター長）

○+クリエイティブコンサルティング

→ レトニアベラサイバルキャンプクラブ

→ ミュージアムロード活性化プロジェクト

→ 見守りクリエイティブ講座

→ 「KOBE X-DAY」プロジェクト

→ パンデギュスタン（仮称）

+CREATIVE SEMINAR

+クリエイティブゼミ



■ vol. 1 医療福祉編

■ 水田 宏和

2013年開設予定の小児がん専門治療施設チャイルド・ケモ・ハウスは、療育環境の整った「夢の病院」を寄付のみで設立するプロジェクト。とはいって、制度や運営において多くの困難があり、サポートを必要とする。ゼミでは、活動の支援策を提案して実行、社会における病院の在り方自体を直視した。

協力：NPO法人チャイルド・ケモ・ハウス 公益財團法人チャイルド・ケモ・サポート基金
夢の病院をつくるプロジェクト

→ かえっこバザール in KOBE

by チャイルド・ケモ・ハウス

チャリティイベントを開催して、チャイルド・ケモ・ハウスの活動を紹介し、ゼミで提案された子ども向けワークショップを実施。ちびっこべ（P27）で結成されたデザイナーチームの有志もプログラムに参加した。

また「ないじょふぶ」キャンペーン実行委員会の協力により、小児がんと闘う子どもたちのドキュメンタリー映画「風のかたち」上映会+トークイベントも開催した。

主催：NPO法人チャイルド・ケモ・ハウス、デザイン・クリエイティブセンター神戸



堀井 慎太郎 Shintaro Horii

KIITO サポーター（神戸芸術工科大学）



「子ども」「病院=建築、環境」という、自分の興味に重なる部分がたくさんある医療福祉編のゼミを知った時、すぐに参加しようと思いました。ゼミでは、自分と同じ大学生でも参加できるような支援ツールとして、「自分の夢を描く（クラウドソーシング）」を提案しました。実際に「かえっこバザール in KOBE by チャイルド・ケモ・ハウス」では、来場者の一人達に作ってもらつたたくさんのフラッグで会場を彩ることができました。継続的な支援の仕組みという点では、課題も多く見つかりましたが、考るだけで終わるのではなく、提案したこと形にていける、動いていく感想がするKIITOのゼミに魅力を感じています。



■ vol. 2 デザイン編

■ 松岡 賢太郎

デザイナー自身をデザインするゼミ。デザインは、リサーチから企画編集、企画書の作成、プレゼンテーション、その後の展開まで考え、すべての過程を自分でデザインと言える。デザインが好きで仕方がないのに仕事に繋がらないなど、行き詰まりを感じている若手デザイナーを対象に、「だれにも聞けなかった」極意をレクチャーし、自ら設定した課題に対して新たな提案を行った。



特別講座 児野まさづく×松岡賢太郎



作品展



松岡 賢太郎 *Kentaro Matsuoka*
アートディレクター (TRITON GRAPHICS)



ゼミでは、多くの人にデザインを教えるという方法も考えましたが、少人数での開講は参加者にも満足してもらえ、結果的に良かったと思います。大学のほうにひとつ課題を出して指導するではなく、ひとりひとりに異なる課題を出して指導するはどうでもハードでしたが、僕にとっても良い経験となりました。課題に対するいろいろな考え方、提案をして、ゼミを一番楽しんでいたのは僕だと思います。また、参加者のデザイナーとしての力や成長を感じることができたのがうれしかったです。

神戸はデザイン都市への選定を機に、デザインを軸にしたまちづくり、人材育成など、推進力を発揮する転換期にあると思います。その中心的な役割をKIITOとそこに集まる人々が担うようになればと思います。

特別講座 金谷 効×松岡 賢太郎



■ vol. 3 まちづくり編

■ 永田 宏和

ニュータウンの「オールドタウン化問題」について考えるゼミ。高度経済成長期に誕生し、発展したニュータウンは、現在、高齢化が進んでいる。市内でも多くの高齢化率となっている高尾台地区をモデル地域とし、調査、議論を重ねながら、住民と共にその解決方法を探った。

協力：神戸市須磨区役所、神戸市都市計画局、高尾台・水野町地区まちづくり協議会



山添 史子 *Chikako Yamazoe*
KIITO サポーター (フリーランス)



最近、「人のつながりをデザインする」という言葉をよく聞きますが、KIITOはどんなアプローチをするのか、その好奇心で参加したことがきっかけです。ゼミやレクチャーに参加して、何だからなりませんがどんどん楽しくなっていました。今まで関わったことのなかった年代の違う人たちや、趣味嗜好の違う方々と自由に楽しく話し合い、作業できる場所でもあります。今では、サポーターとしてお手伝いもさせていただいている。これからどのような方向に向かうのかとても楽しみですし、「おもしろいつながり」と「おしゃれな空間」に大満足です。

MIRAI NO KAKER LAB.

未来のかけらラボ



■ vol.1 バックミンスター・フラー再考

■ 芹沢 高志

混沌を深める現代社会において、身边に散らばる未来のかけら、つまり可能性の要素を拾い集め、草の根的に自分たちの未来を思い描ごうとする実験的な試み。フラーの地政的な視野や卓越した創造性、「モノ」から「コト」のデザインへの移行など、「デザイナー」としてのフラーに光を当てた。



+CREATIVE CONSULTING

+クリエイティブコンサルティング

セミで提示されたプランの中から実現性が高く、効果が期待できる案を、関係機関と協議しながら事業化に繋げるコンサルティングを行う。試験的実施に至ったもの、実施に向けて調整中のものなどそれぞれ状況は異なるが、ほとんどのセミで生まれたプランが、実現に向けて動き出している。

→レッドペアサバイバルキャンプクラブ

セミ生たちが中心にサバイバルキャンプのサークルを設立。セミで開発されたサバイバルキャンププログラムの普及・啓発を行っている。定例ミーティングを重ねながら、クラブメンバーのスキルアッププログラムを実施し、親子で学べる避難生活体験キャンプをクラブメンバーがホスト役となって開催した。



レッドペア サバイバルキャンプ火おこし体験



ミュージアムロード活性化プロジェクト イメージ

→ミュージアムロード活性化プロジェクト

阪神・岩屋駅から兵庫県立美術館へ続くミュージアムロードを活性化するため、美術館屋上に設置されたカルルのオブジェ「美かえる」をシンボル化し、地域に愛されるキャラクターとして成長させるプロジェクト。兵庫県立美術館、神戸市灘区役所、阪神電鉄と連携し、「美かえる」のカラーパターンを使用したミュージアムロードの活性化プランを展開予定。



見守り+クリエイティブ講座 ここに編



「KOBE × デート」プロジェクト イメージ

→「KOBE × デート」プロジェクト

セミで生まれた一つのプランをベースに、神戸を「デート」というテーマでプロモーションするキャンペーンプロジェクトを準備中。市民、観光客に向けた一方通行型のプロモーションではなく、ターゲットを書き込みながらキャンペーンを行う双向型のプロモーションを実施する予定。



→パンデギュスタシオン(仮称)

「KOBE × デート」プロジェクト同様、「観光」をテーマにしたセミで生まれたプランの一つ。神戸市中央区で実施するパンをテーマにした地域活性化プロジェクト「KOBEパンのまち散歩」とタイアップし、神戸のパンを観光資源として発信するため、中央区内のパン屋さんとともにパンを食べ歩きながら楽を楽しむ「お散歩パン」企画を準備中。

デザイン、まちづくり、アートなど様々な分野から、「+クリエイティブ」的な視点で活動を実践しているプロのクリエイターたちを講師に迎え、講義形式のレクチャーを定期的に開催。

→ Hearing

Periodically, KIITO hosts +Creative Lectures that bring together very different kinds of people who take an approach to their work that exemplifies the +Creative viewpoint in a variety of fields such as design, urban development and art.

○+クリエイティフレクチャー

10/12(Fri) グローバル時代のジャパンクリエーション
金井 政明 (良品計画 代表取締役社長)

10/16(Tue) KIITO の未来を紡ぎだす
榎橋 修 (建築家)、西川 功晃 (職人)、高橋 孝治 (デザイナー)
岸沢 高志 (センター長)、永田 宏和 (副センター長)

2/9(Sat) くりかえし原点、くりかえし未来。
小池 一子 (無印良品アドバイザリー・ボード)

2/16(Sat) 絵と言葉のレクチャー
吉藤 文平 (アートディレクター)
→ 2/15-3/5 (Sun) 吉藤文平の“冬にやる”夏の一研究

2/22(Fri) クリティカル・デザイン
スプツニ! (アーティスト)

3/22(Fri) MUJI+クリエイティブゼミ 特別レクチャー
地域に寄り添う MUJI
深澤 直人 (アロダクトデザイナー)



+CREATIVE LECTURE

+クリエイティフレクチャー



■ グローバル時代のジャパンクリエーション

■ 金井 政明

無印良品が別の国で誕生したと仮定し、構想するWorld MUJIプロジェクトなど、素材の探求と環境への配慮を常に意識しながら、世界に目を向ける、ものづくりの姿勢を紹介した。



■ KIITO の未来を紡ぎだす

■ 榎橋 修、西川 功晃、高橋 孝治、

芹沢 高志、永田 宏和

みんながクリエイティブになること、そして、多様な人々の交流により生まれた新たな考え方を探り入れ、社会課題の解決を目指すKIITOのコンセプトを軸に、建築、料理、デザイン分野のゲストを迎えて、KIITOの未来を話しあった。



■ くりかえし原点、くりかえし未来。

■ 小池 一子

講師自身がコピーイングをした作品を振り返りながら、個人のライフスタイルだけでなく固有の文化を踏まえた無印良品の企業理念や、コンセプトを紹介した。



■ 絵と言葉のレクチャー

■ 寄藤文平

デザインと言葉を組み合わせることによって人に伝わる表現について、マナー広告を紹介しながら、常識にとらわれない独自の表現方法を紹介した。

→ 寄藤文平の"冬にやる"夏の一研究

これまでに手描けた仕事やデザイン論を手描きイラストレーションと言葉により表現した展覧会を開催。

企画：ギンザ・グラフィック・ギャラリー 協力：公益財團法人DNP文化復興財团



■ クリエイカル・デザイン

■ スプツニ子！

存在しない状況や物事を仮定することにより、常識や価値観に疑問を投げかけ、新たな価値を提案するクリエイカル・デザインの現状と今後の社会における展望について講義を行った。

協力：神戸芸術工科大学

■ 地域に寄り添う MUJI

■ 深澤 直人

地域特有の資源に注目して商品開発を行い、同時に技術の伝承や生産地域の保全に貢献するFound MUJIのプロジェクトなど、地域に寄り添う無印良品の活動を紹介した。

主催：デザイン・クリエイティブセンター神戸、神戸商工会議所



神戸を拠点とするクリエイター、学生、クリエイティプラボの入居者がデザインにすることやアイデアをプレゼンテーションするイベント。新たなプロジェクトを生み出すきっかけづくりの場。

→ Talking

This is an event for Kobe-based creators and students working in a wide range of genres and for creative lab residents to present their designs, thoughts and ideas. In so doing, they generate new opportunities to establish projects between people working in creative fields.

○ KITalk (キイトーク)

9/4(Mon) KIITO Bar

藤 浩志（美術家）、芹沢 高志（センター長）、永田 宏和（副センター長）

10/11(Thu) KIITO オフィス入居者の大プレゼンテーション会

クリエイティプラボスペース入居者

1/11(Fri) プrezenteーション 新年会編

クリエイティプラボスペース入居者

2/22(Fri) Body Futures 出品作品プレゼンテーション

神戸芸術工科大学 大学院生

→ 2/22 (Fri) - 28 (Thu) Body Futures 成果発表展覧会



■ KIITO Bar

■ 藤 浩志、芹沢 高志、永田 宏和

Barの空間でワイン片手に、オープン間もないKIITOの今後を考える語らいの場。文化施設の現状や今後の可能性について、近隣施設の関係者も交えて対話を行った。

■ KIITO オフィス入居者の大プレゼンテーション会

■ クリエイティプラボスペース入居者

建築、プロダクトデザイン、編集、フラワーデザインなどの分野で活動するクリエイティプラボスペースの入居者が集い、プレゼンテーションを行った。

■ プrezenteーション新年会編

■ クリエイティプラボスペース入居者

新たなクリエイティプラボスペースの入居者を迎え、活動紹介を行い、新年を祝した交流会を行った。

■ Body Futures 出品作品プレゼンテーション

■ 神戸芸術工科大学 大学院生

スポーツをキーワードに未来の人間の身体、生活、社会、政治をテーマにした作品について、出品者がプレゼンテーションを行った。

→ Body Futures 成果発表展

神戸芸術工科大学大学院のインラクションデザインプログラムの成果を展示了した。

主催：デザイン・クリエイティブセンター神戸、神戸芸術工科大学



西村 由希子 Yukiko Nishimura

フラワーデザイナー（花商：クリエイティプラボ入居）

入居している4階から外の風景を見ると、建物ができた当時も見えていたような景色が広がります。かつて日本の産業の起点だったこの歴史的な場所が今、新しいものを生み出していく場所になりました。そこに自分がいることが嬉しい、また入居する前は想像していませんでしたが、実際に活動しながらそのことを強く肌で感じています。KITTalkでプレゼンテーションをしましたが、KIITOには周りとの関わりを持ついろいろな企画があり、みんなの「元気になろう」「新しいものを生み出そう」と、モチベーションから刺激を受ける場が多くあります。すべての場には参加できまさん、 「行きたい」と思った時にすぐに行動する距離は、KIITOの魅力ですし、自分たちの発想を育ててくれるきっかけとなっています。まずは必要な人に伝わること、そしてここから世界へ広がっていくことを期待しています。

昔ながらの知恵や受け継がれてきた技を学びながら、ものづくりの本質を知り、体験する場。日常生活にちりばめられた+クリエイティブを見出し、新たな視点が生まれることを目指す。

→ Making

Here is a place where people can familiarize themselves with the essentials of manufacturing and gain hands-on experience while learning time-honored wisdom and techniques handed down from the past. In addition, the workshop aims at helping to discover +creative elements in daily life and to generate new viewpoints.

2/16(Sat) +クリエイティブワークショップ 絵と言葉のワークショップ

寄藤 文平（アートディレクター）

3/16(Sat) KIIITO×Re:Sワークショップ 編集を学ぶかべ新聞部

藤本 智士（編集者）

3/17(Sun) ものづくりワークショップ 自分で味噌をつくろう

中村 正枝（あいな茶屋）

3/23(Sat) ものづくりワークショップ 木のスプーンをつくろう

山極 博史（家具デザイナー兼家具職人）

3/24(Sun) ものづくりワークショップ CASAでコースターをつくろう

HOUKO (CASA PROJECT代表)

■ 絵と言葉のワークショップ

■ 寄藤 文平

独自のデザイン論を体験するワークショップを実施。説明を言葉からイメージする発想方法を実践した。



■ 編集を学ぶかべ新聞部

■ 藤本 智士

神戸のまちの魅力を伝える壁新聞を制作するワークショップを開催。取材から編集会議、原稿作成、デザインまでを1日で行った。



■ 木のスプーンをつくろう

■ 山極 博史

木材を削り木のスプーンを作るワークショップを開催。ナイフを使い、世界に一つしかないオリジナルのスプーン制作を行った。



■ 自分で味噌をつくろう

■ 中西 正枝

大豆と麹を混ぜ合わせてつくる味噌づくりワークショップを実施。発酵時間の違う味噌の比較を行い、発酵食品の奥深さを体験。



■ CASAでコースターをつくろう

■ HOUKO

傘の布を再利用して、コースターを作るワークショップ。色とりどりの布を組み合わせたパッチワークでデザインをした。



藤本 智士 Satoshi Fujimoto

編集者 (Re:S)

「かべ新聞部」を企画したきっかけは、KIIITOの周辺について、自分たち自身が知りたいということでした。参加者には、人に会うことを必須とし、神戸のまちを取材してもらいました。その後、編集会議、原稿作成、デザインまで、すべてのプロセスを行いました。その結果、参加者のみなさんがまちの魅力をたくさん見つけてくれ、それをシェアすることができました。人と人とアリバール「出会い」ことを仕掛けたのではないかと思っています。

今後も KIIITO の空間を使って、入居者同士や、全国のまちで活躍している人などを、どんどん見ていければいいなと思います。互いの活動に活かせるアイデアや経験を交換したい。また、神戸のルーツを一度見直し、強みを把握することによって、今の神戸の魅力をいかに見せていくべきかについても考えたいですね。

食を本質から問い直し、シェフ、生産者、消費者とともに、神戸の食を考え、発信する場。食のフィールドを超えての交流や活動を実験的に展開した。

→ Tasting

Here is a forum where culinary professionals, food producers and consumers get together to re-examine food from its essentials, discuss food cuisine relating to Kobe, and share the results beyond the Forum. In addition, the groups are starting initiatives and exchanges that extend beyond the standard understanding of food.

2/13 (Wed) 神戸料理フォーラム OPENING Talk & Party

西川 功晃 (サ・マーシュ)、楠田 裕彦 (メゾグライクス)、福本 伸也 (カ・セント)、NO ARCHITECTS (西山 広志・奥平 桂子)

3/19(Tue) 神戸料理フォーラム vol. 1 料理人 福本 伸也



■ 神戸料理フォーラム OPENING Talk & Party

- 西川 功晃、楠田 裕彦、福本 伸也、
NO ARCHITECTS (西山 広志・奥平 桂子)

神戸料理フォーラムとは食を本質から問い合わせし、シェフや生産者、消費者とともに神戸の食を考え発信する場。中心メンバーの3人がトークセッションを行い、料理を振る舞った。NO ARCHITECTSは生糸検査所時代の家具を利用し空間を構成した。

■ 神戸料理フォーラム vol. 1

- 福本 伸也

「料理人 福本伸也」と題し「カ・セント」のオーナーシェフが料理や食材、レストランでの人の向き合いについて、試食を交えてレクチャーを行った。



西川 功晃 Takaaki Nishikawa

職人 (サ・マーシュ)



「神戸料理フォーラム OPENING Talk & Party」を行ったときは、会場がとても熱力的で、何かが起ころうだ感じられる空間でした。生糸検査所時代の家具や照明のセッティングによって、料理が普段とは異なる考え方をしていたこともよかったです。一般の人々に「食」をもっと伝えたい。そのためには、たのもうろい、すごいではなく、質の高いものをちゃんと伝えていかなければならないと感じています。今後はクリエイティブラボの入居者とのコラボレーションなどを試みていければと思います。



歴史学、地理学、生態学、文化人類学、アートなど、幅広い領域を横断的に、今までにない視点で新しい「神戸」を再発見する試み。
フィールドワークなどを取り入れ、多方面からのアプローチを行う。

→ To Kobe

This is an attempt to create a discipline for looking at Kobe from unconventional viewpoints.
It includes history, geography, ecology, anthropology and art in a cross-disciplinary manner. These are conducted from a multifaceted approach that includes fieldwork.

12/11(Tue)- KIITO アーティスト・イン・レジデンス 2012
水川 千春 (アーティスト)

- 12/11(Tue)-14(Fri), 1/16(Wed)-20(Sun) 公開制作
- 12/16(Sun) アーティスト・トーク
- 1/26(Sat)-2/9(Fri) 成果発表展「地をあぶる」

2/21(Thu), 3/7(Thu), 14(Thu), 17(Sun), 22(Fri) MUJI+クリエイティブゼミ Found MUJI 神戸
高橋 孝治 (デザイナー)

2/23(Sat) 神戸スタディーズ #1 神戸レイヤーマッピング
深澤 晃平 (編集者、地図デザイナー)



■ KIITO アーティスト・イン・レジデンス 2012 ■ 水川千春

滞在制作をするアーティストの視点で神戸の再発見を試みるプロジェクト。期間中に公開制作、アトリエ公開、アーティスト・トークを行い、最後に成果発表を行った。



水川 千春 Chiharu Mizukawa
アーティスト



KIITO の 2 階のアトリエと、ギャラリー日の階段で制作していました。普段から、通路として人が通りがかる場所でもあったので、施設のスタッフや、ラボに人居されている方、イベントに来の方、館内に迷い込んだ方、警備の方、いろいろな人が制作の様子を見たり気付いてくれました。これまで出合った人とここでまた再会し、また、神戸の面白い人にたくさん出会い、話しました。海が近いので、毎日海へ行き、素材として海水を使い、その体験は作品に昇華されました。今回の滞在を終え、作品の深度や制作の姿勢がまた変わったような気がしています。KIITO は、まだ見ぬ変化を待つ場所が、たくさんあると思います。神戸で働いている人、地域の人、主婦、アーティストなどが入り混じり、それぞれが自分の好きな場所を見つけ出して使っていく、そんな可能性を持つ場所だと思います。

MUJI+CREATIVE SEMINAR

MUJI+クリエイティブゼミ

MOSHIM 2012



■ Found MUJI 神戸

■ 高橋 孝治

地域の特色や文化を現代生活に掛け入れ、楽しみ、そして次の世代に継承する無印良品のFound MUJIのプロジェクトを神戸で行う試み。公募で集まつたゼミ生とともに、約1年かけて、リサーチ、アイデア展開、アウトプットまでを行い、成果物は無印良品店舗での展示、販売を目指す。



高橋 孝治 Koji Takahashi

デザイナー（良品計画）



私は、MUJI+クリエイティブスタジオのオープンに合わせて、東京から神戸に引っ越しきました。おしゃれで洗練された都会的な街という印象を持つていたのですが、住んでみると、昔ながらの風景がたくさんあり、どこか懐かしい町のようです。引っ越し前のイメージとの思わぬギャップに戸惑しながら、Found MUJI 神戸を進めています。ゼミ生はクリエイター、大学生、主婦など、年齢も職業も様々で、地元の方もいるし、そうでない方もいます。それぞれの多様な気付きを持ち寄るため、ゼミは毎回時間通りに終わりません。この調子だとあと一ヶ月ですが、来春には成果展示、商品の販売を考えています。地元の方にも、神戸に訪れた方にも受け入れてもらえるFound MUJI 神戸にできたらいいですね。



■ #1 神戸レイヤーマッピング

■ 深澤 晃平

水と関係の深い神戸の地理情報を紹介し、オリジナルで制作した地図を手に、フィールドワークとして、フラワーロード、三宮駅周辺（神戸市中央区）、新開地、淡川、東山（神戸市兵庫区）のまちを歩いた。



↓ネットワーク

他の文化施設、ギャラリー、アートNPOとつながり、プロジェクトを協働することで、あらたな可能性を生み出した。

→ Network

KIITO collaborates on projects with other cultural institutions, galleries, and art-related non-profit organizations to generate new opportunities.

10/6(Sat)-12/24(Mon) CAP SPOT 01

C.A.P. 芸術と計画会議（アートNPO）

10/12(Fri), 10/13(Sat) The Creative Time Summit 2012 中継上映会
Creative Time（アートNPO）

10/27(Sat)-11/4(Sun) 第7回金の卵オールスター・デザインショーケースKIITO巡回展
AXISギャラリー

トークイベント

兼松 佳宏 (greenz.jp編集長)、田辺 幸徳 (神戸芸術工科大学助教)、
高橋 孝治 (デザイナー)、佐野 恵子 (キュレーター)、永田 宏和 (センター長)

1/17(Thu)-1/27(Sun) 東日本大震災復興支援「つくることが生きること」神戸展
わわプロジェクト

NETWORK

ネットワーク



■ CAP SPOT 01

■ C.A.P. 芸術と計画会議

実験的活用スペースの一部を試験運用し、CAP SPOT 01(キャップスボットオーワン)と名付け、プレゼンテーションや古本市などイベントを行った。12/24(Mon)には空間をデコレーションして、CAPのクリスマス会を開催した。

■ The Creative Time Summit 2012 中継上映会

■ Creative Time

ニューヨークを拠点に活動するアートNPOのCreative Timeと連携し、サテライト会場としてグローバル会議を中継した。アートは社会を変えることができるかをテーマに2日間開催。





■ 第7回金の卵 オールスター・デザインショーケース KIITO 巡回展

AXISギャラリーが企画を行った、「スマートライフ・エネルギー再考」をテーマに大学から選抜された学生の作品を展示。トークイベントでは兼松佳恵、田頭章徳、高橋孝治をゲストに迎えて作品を講評した。



あのひと
と KIITO
佐野 恵子 Keiko Sano
キュレーター（アクシスギャラリー）

以前から関西地域でアクシスギャラリー企画展の巡回先を探していたこともあり、神戸にデザインの拠点ができることを待ちにしていました。しかもKIITOは、ただ単に一方的に発信するだけでなく、市民参加型のオープンなプラットフォームであり、社会的な問題をクリエイティブの力によって解決し、そのアイデアを実践する場でもあります。東京ではできないことを神戸のスケールならでできることがたくさんあるはず。どんどん実験的な取り組みをしていただき、その他の地域に波及させる役割を担ってほしい。「社会を良くするデザイン」これまでなかなか認知されなかったデザインの力を最大限活用するための拠点として機能することを期待しています。同時に、東京からのさまざまな情報や人材、新しい考え方方が刺激となり相乗効果を高められる場となることを希望します。

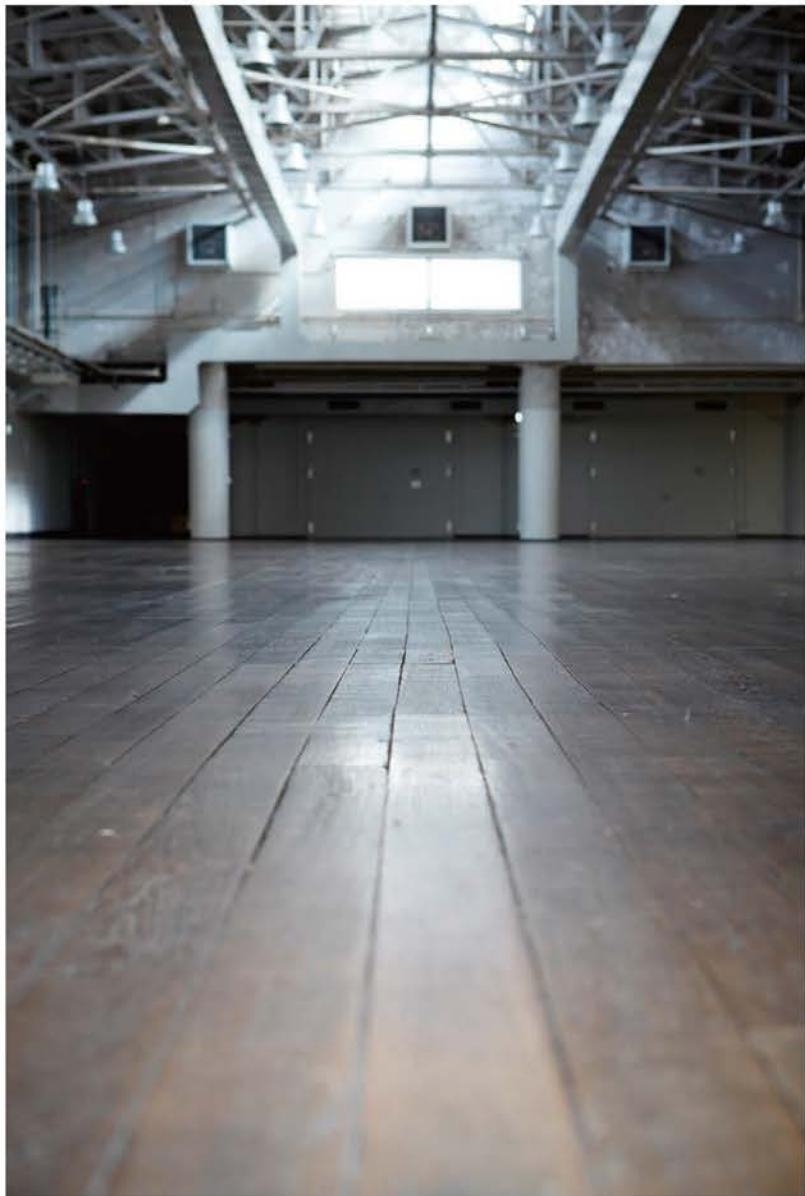


■ 東日本大震災復興支援 「つくることが生きること」神戸展 ■ わわプロジェクト

震災復興支援の今を見つめなおす展覧会を開催。東日本大震災直後を撮影した山岸直哉による作品「氣仙川」、阪神淡路大震災直後の神戸を撮影した吉本隆司の零散作品など多くの作品・活動を紹介した。また震災後のクリエイティブ分野での支援活動をウェブーカイブする。阪神・淡路大震災+クリエイティブタイムラインマッピングプロジェクトも展示了した。

主催：デザイン・クリエイティブセンター・神戸
わわプロジェクト（一般社団法人非営利芸術活動団体コムドン）





3

スペース Spaces

- ライブラリ
- CAFE
- MUJI+ クリエイティブスタジオ
- プロジェクトスペース
- クリエイティブラボスペース
- レンタルスペース
- 実験的活用スペース



LIBRARY

ライブラリ



あのひと
と KIITO

家成 俊勝 Toshikatsu Ienari
建築家 (dot architects)

KIITOでは小さなライブラリの改修のデザインをさせていただきました。私が神戸で生まれ育ったので、神戸でお仕事をさせていただくことは非常に嬉しいことです。ライブラリでは、昔から使われてきた家具を少しづつスライマイズして配置することで、元からある素晴らしい空間の雰囲気を残すようにデザインしました。KIITO自体は港町特有の非常に魅力的な建築であり、海路と空路が交わる場所に建っています。そのような建築をデザイナーの拠点にすることによって、神戸の町は大きく変わっていくと思います。デザイナーとは町の価値を再発見し、培ってきた歴史とこれらの未来をデザインによって橋渡しする存在です。神戸で活動する様々な方々との関係性を構築しながら、世界にも通じる楽しい状況が生まれればと思っています。



無印良品が防災、環境、食、福祉、教育、まちづくりなどをテーマに KIITOとともに研究開発を行なうスタジオ。「地震に備える事の大切さを、多くの人に知ってもらいたい」との想いから、無印良品があたらしい備えを提案した展示「いつものもしも2012」を10・6・12/28まで開催。「Found MUJI 神戸」の活動拠点として生まれたミーティング場所やリサーチ結果の展示空間としても活用中。

生糸検査所時代に活躍した検査機器が残された空間を活かしたカフェ。その空間づくりに、パートナーである家具職人を中心に多くのボランティアが参加した。神戸の食を発信し、食に関連するプロジェクトを行う拠点。



山極 博史 Hirofumi Yamagishi
家具デザイナー兼家具職人 (うたたね)



MUJI +Creative Studio
MUJI+ クリエイティブスタジオ

PROJECT SPACE

プロジェクトスペース

+クリエイティブゼミやクリエイティブラボ入居者のミーティングスペース。



あのひと

と KITO

畠 友洋 Tomohiro Hata

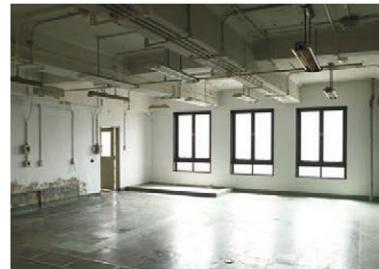
建築家(畠友洋建築設計事務所)



RENTAL SPACE

レンタルスペース

KITO ホール、ギャラリー A、B、C、
会議室 101、301、302、303 の8スペース。



CREATIVE LAB SPACE

クリエイティブラボスペース

全 29 塗あるオフィス入居スペース。クリエイティブなフィールドで活動を行う人や団体が集い、分野を超えたつながりが生まれている。

EXPERIMENTAL UTILIZATION SPACE

実験的活用スペース

改築以前の状態が保存されている館内では希少な空間。
催事時のみ利用可能。



4

データ Data

- 組織
- 主なスペース
- メディア
- 発行物
- KITOの数字
- 協力クリエイター／団体一覧
- デザイン・クリエイティブセンター神戸スタッフ

組織

Organization Structure

デザイン・クリエイティブセンター神戸（神戸市）

指定管理者：iop都市文化創造研究所・ピースリーマネジメント・

神戸商工貿易センター共同事業体

Designated administrator of Design and Creative Center Kobe (Kobe city):

Joint venture of City Culture Creation Research Institute・P3 Management・

Kobe Commerce, Industry and Trade Center

デザイン・クリエイティブセンター神戸

企画事業部

施設管理部

Design and Creative Center Kobe

Event and Exhibition Planning Department

Facility Management Department

主なスペース Spaces

1F KII+ホール/ギャラリーA、B/101/カフェ/
MUJI+クリエイティブスタジオ/事務所/プロジェクトスペース/
控室A、B、C/樂屋A、B、C

2F ライブラリ/生糸検査所ギャラリー/ギャラリーC/
プロジェクトスペース/実験的活用スペース

3F クリエイティブラボスペース/301、302、303/
プロジェクトスペース/実験的活用スペース

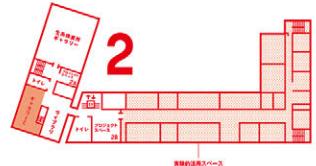
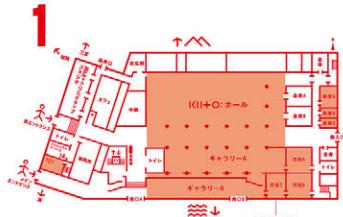
4F クリエイティブラボスペース/プロジェクトスペース

1st Floor
KII+ Hall/Gallery A, B, C/Meeting room 101/Cafe/
MUJI+ Creative Studio/Office/Project space/Waiting room A, B, C/
Backstage A, B, C

2nd Floor
Library/Row Silk Testing Center Museum/Gallery C/
Project space/Experimental Utilization Space

3rd Floor
Creative Lab Space/Meeting room 301, 302, 303/Project space/
Experimental Utilization Space

4th Floor
Creative Lab Space/Project space



■ レンタルスペース ■ クリエイティブラボスペース ■ 実験的活用スペース

メディア

Media

ウェブサイト Website

<http://www.kiito.jp/>

facebook

<https://www.facebook.com/designandcreativecenterkobe>

Twitter

<https://twitter.com/kiitokobe>

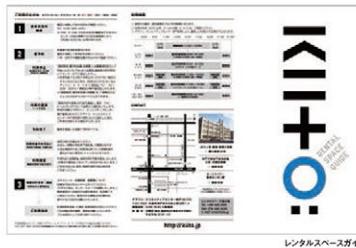
メールマガジン Newsletter

<http://kiito.jp/>

The screenshot shows the official website for KII+. The main header features the text 'KII+O' and 'デザイナーの次のかたち' (The Next Shape of Designers). Below the header, there's a large graphic of the Japanese character '次' (Next) in black. The page contains sections for 'DESIGN STATION KOBELA' and 'EXHIBITION KOBELA' with images of people and text descriptions. At the bottom, there's a link to 'http://kiito.jp/'.



発行物 Publications



KIITOの数字

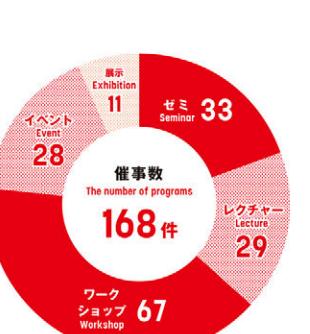
Figures for 2012

延べサポーター参加者数
The total number of volunteers



延べサポーター参加者数
The total number of volunteers

催事数
The number of programs

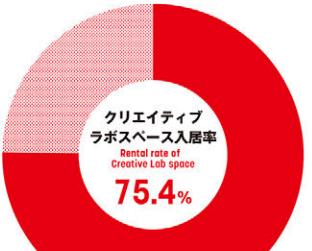


168件



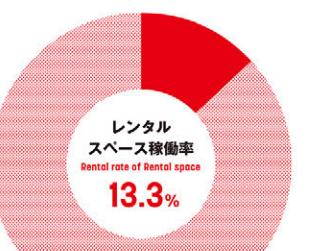
延べサポーター参加者数
The total number of volunteers

クリエイティブ
ラボスペース入居率
Rental rate of Creative Lab space



クリエイティブ
ラボスペース入居率
Rental rate of Creative Lab space

レンタル
スペース稼働率
Rental rate of rental space



13.3%

メディア掲載
The number of media coverage



96件

ウェブサイト
ページビュー数
The number of website page views



290,468

協力クリエイター／団体一覧

Collaborators

あ

あいの茶屋 Aina joyo

里山文化の良さを多くの人に伝えたいと北区山田町郷原の住民で構成。地域の人々の芽り合いの場を提供して美や文化の知恵を伝える体験教室を開催したり、地域に根ざした文化の提供をしている。

阿曾 実美 Fumi Asa 建築家

1977年長崎県佐世戸市生まれ。2002年金沢工業大学大学院建築系修士修了。2002年小山隆治建築研究所勤務を経て2006年阿曾実美建築設計事務所設立。2011年から大阪人間科学大学非常勤講師。建築・インテリアの企画・設計・監理・ランステップ・プログラ等、建築から派生する全てのトコ・コト・モノにおいて活動。コンセプチュアルな理性とヒトから心情をテーマに取り組んでいる。

安藤 孝志 Tokashi Ando シェフ

1973年兵庫県芦屋市生まれ。甲南大学卒業後、1997年家庭である三宮一貫様へ入社。主に店舗、商品開発、企画を担当。2011年は老舗記、四国様と共に「KOBE隠翠サミット」を立ち上げる。

家成 俊樹 Toshikatsu Ienari 建築家

1974年兵庫県生まれ。関西学院大学建築学部卒業。大阪工業技術専門学校夜間部卒業。専門学校在学中に設計活動を開始。2004年アートとdot建築設計共同設立。京都造形芸術大学 空間構造デザイン学科 特別准教授。大工工具社員専門学校 建築学科部 非常勤講師。KIITOにおける接客時空間での什器を手がけたライターや空間のデーターを扱う。

池島 謙 Koh Ikeyama デザイナー、街の農園をむすぶ耕種者

1976年大阪府守口市生まれ。守口市商店街にて勤務の後、2006年より農業デザイン事務所を立ち上げ、「農産物直売」として、会員農家によるデザインの解決を試みている。ひよこの在来種保存会・郷土資源保護会・地元住民と共に、各地で育てた野菜をつなぐネット、映像上映会などを主催。

井上 敦典 Atsunori Inoue グラフィックデザイナー

1970年兵庫県小野市生まれ。2003年より、神戸を中心に店舗展開する美容室のビジュアルデザイン。ロゴやマイラーなどイメージイメージに関わる全てを行いデザインの幅を広げる。2005年、まことデザイン事務所を設立。以後、心にふれるデザインと温かい情熱を日々に磨き継続している。

岩田 章吾 Shogo Iwata 建築家

1954年大阪府生まれ。1979年大阪大学学部院修了。竹中工務店設計計画部で、1999-2000年コロナビオ大学建築計画室で留学。帰国後神戸大学大学院で博士号取得。2005年から兵庫県建築設計事務所勤務。建築・インテリアの企画・設計・監理はじめ、都市計画も行う。2012年から武庫川女子大学教授。研究・研究と実際の建設設計で二つの領域を維持し、建築として社会への新たな貢献を目指している。

上野 順也 Noeji Ueno シェフ

1970年兵庫県尼崎市生まれ。浪速御厨の店を営んだ上野順三の二男として生まれる。18歳で姫路「船井食料」田吉松氏に師事し、2004年に芦屋市中央に「食育」を旗印、父の下で醸した「なにわ伝統野菜」に加え、現在は在来品種を積極的に取り入れ、白座農場に赴き生産者と打交を深める。食育にも力を貸す。2011年開店記念ディスカウントにてニシ星獲得。苦言に「四季を知れる(植物出版)」。NHK「まつのお料理」出演。

大下 出也 Hisashi Ochiai シェフ

1978年兵庫県生まれ。専門学校卒業後、声優ビゴーの店での修行を経て神戸北野ホテルの製パン部門でシェフアシスタントの立ち上がりとして就任。その後シェフとして就任。その達成感・シェフとしての喜びを深めることで、2012年神戸御厨のピアノニキュンを開店。

大下 達也 Tatsuya Onishi シェフ

1971年兵庫県生まれ。大阪商業大卒。26歳から里子育児に携わる。大阪で5年間洋菴子店の勤務の後2005年元町店にて修行。2007年に店を引き継ぎ、2008年に本店リニューアル。現在に至る。主にコレクション販売。2006年吉澤ハサハシショーリー賞、2008年内外杯優勝、クーブトゥモドハイアリスト、WPCTC国内予選2位など。

奥本 浩史 Hiroshi Okumoto シェフ

調理師専門学校卒業後、渡仏。フランスにて研修。帰国後、東京オランシェードワジ・神戸トゥールドール、パティシエを務める。ニースで研修中、食した内地料理に惹かれて、イタリア料理の道へ。その後、大阪・広島のイタリアレストランのシェフ。2009年11月オスティア・アランチュートのオーナーシェフに。

か

金井 政明 Masaoaki Kanai 株式会社食品計画 代表取締役社長

1957年生まれ。西日本ストア（現合併会社セイワ）を経て1993年良品計画に入社。生活雑貨部長として長い間、売上向上のための改善提案を手がけ、商品の成長を支える。2008年2月代表取締役社長に就任。現在に至る。2009年9月には株式会社イーダー代表取締役社長に就任。良品計画グループ全体の企業価値向上に取り組む。

金谷 鮎 Tsutomu Konoya クリエイティブディレクター

京都産業大学人文学部卒業後、企画制作会社、広告制作会社を経て、1999年10月「CEMENT PRODUCE DESIGN」設立。大阪・東京で、グラフィック、Web、プロダクト、広告デザイン、商品企画開発、企画ディレクションなど幅広く活動する。また自社プロジェクトを企画、立案、実現まで展開し、法人を対象とした日本での各種事業との協業企画も積極的に進めている。

兼松 佳宏 Yoshihiro Kanematsu 編集者

ウェブデザイナー、アーティストとして活動経験。2006年フリーランスのクリエイティブディレクターとして就職。暮らしと世界を愛するクリエイティブアーティストとして紹介されるスマッシュ「greenz.jp」立ち上げに携わり、2010年12月より編集者を務める。著書に「ソーシャルメディアで社会につなぐドライアワード」、「クリエイティブコミュニケーション」(共著)など。

神浦 実恵 Setsuko Kaneko グラフィックデザイナー

1990年佐賀県生まれ。大阪府立大学環境設計学科卒業後、造園会社、広告制作会社勤務を経てフリーのグラフィックデザイナーとして活動中。

城戸 駿和 Ryohei Kidoishi 建築家

1960年兵庫県生まれ。芝浦工業大学大学院修士課程修了後、嶋崎新アトリエ、伊豆豊雄建築設計事務所を経て1993年兵庫県佐賀建築設計事務所設立。2012年より神戸大学客員教授。主な作品に鈴木工業本社、ガボンの魚市場、チカラ・ワキ、16、など。主な受賞に、SD賞、グッドデザイン賞、INAXデザインコンテスト賞など。

橋田 格洋 Yasuhiro Kusuda 食肉加工業

1972年生まれ。大阪人の食の事を仕事に。特集、大阪でイタリア・フランス料理を学ぶ。レストランシェフ、ローゼンシェフを経る。バーナンブルバーナ・ヘルバ・ハーブ・ガーリックのソムリエ、スマッシュマーヘーハー・ソースの担当を務める。アルゼン・ババードのシルクキュリエにて研修を受けた後は日本で活動。2000年鹿児島クラウド工場にて工場会員として活動する。2004年神戸に移り、メグカラ・イヌサウス六甲店、2009年芦屋店をオープン。

Creative Time アートNPO団体

ニューヨークを拠点に活動するアートNPO。社会とアートの関係性を問い続け、パブリックアートに特化して、作品を発表する場を創りたいと紹介している。

森原 実宏 Hiroaki Kawahara 建築家

1967年生まれ。大阪大学建築工学科卒業後、竹中工務店、PPU設計・設計研究室を経て2008年一級建築士事務所アトリエSOU設立。2008年より大阪産業大学非常勤講師。主な作品に「そらふく貝織のほのぼの（大阪まちなか貢献賞賞）」がある。近年はニュータウン及び西園寺再生に精力的に取り組んでおり、街づくり活動と併行して「住まう会議」を積極的に実施。大阪府開催しまつく教育普及講師、大阪市立まちづくりセンターにて子どもと一緒にする開拓する前授業やワークショップ等を開催している。

小池 一子 Kazuko Kikei 無印良品アドバイザリー・ボード

東京生まれ。無印良品アドバイザリー・ボード。デザインプロジェクトの企画・執筆をする傍ら、現代建築を研究して「アーティストを育む」活動。休眠エネルギー・ビット・スペースの開拓に活動的で国内外で活躍（高い1983-2000年）。武庫野美術大学空間演出デザイン学のファシリティーズ計画を創設。現在、同名を運営。佐賀アート・カーブ（3331 Arts Chiyoda）を2010年に創設し、自身のコレクションと活動の経験を残している。

黄潤 Buki Kou エクアトリアル・デザイナー

1972年兵庫県神戸市生まれ。大阪学業後、主に企画・制作会社でDTPを中心とした広告制作を手がく。2003年から現在は会社を起業しクリエイティブ事業部をbukkou（ビーカーク）に命名。隣接店舗を中心に新規事業の企画・制作を行なっている。神戸市中央区住吉。

神戸理科學部 Keiichi Yorikoshi 理化学

「本当に何が何なのか」と尋ねると「もう一度教えて」と答える。次世代の食を創るる研究者であるといいつだ。食育の視点で、研究・教育・実践を並行して行なう。休眠エネルギー・ビット・スペースの開拓に活動的で、国内外で活躍（高い1983-2000年）。武庫野美術大学空間演出デザイン学のファシリティーズ計画を創設。現在、同名を運営。佐賀アート・カーブ（3331 Arts Chiyoda）を2010年に創設し、自身のコレクションと活動の経験を残している。

小林 新祐 Shinya Kobayashi デザイナー

1987年兵庫県生まれ。大阪府立大学でグラフィックデザインを学ぶ。暮らしの未来において、地域資源活用による社会活性化をめざす。次世代の食を創るる研究者である。2011年地元にてデザイン研究室「ソララボス室」設立。デザインの輪を広げるため、子どもからお年寄りまでが集まる「播州カフェ」を運営。世界でオンラインのマッチ。大家族が暮らすマチ、産業や観光が世界市場に差がるマチを目指して活動中。

近藤 駿 Kondo Satoshi グラフィックデザイナー

1976年大阪府生まれ。神戸大学児童学科卒業。IMI（インターディッシュム研究所）卒業。2010年明後日アート制作会社を設立。神戸芸術工科大学非常勤講師。

金野 千恵 Chie Kinjo 建築家

1981年神奈川県生まれ。2005年東京工業大学工学部建築学科卒業。同大学院在学中2005-06年イスラエル大学にて留学として留学。2011年東京工業大学大学院博士課程修了。博士（工学）。2011年より神戸芸術工科大学大学院准教授。同年KONNO設立。2011年マイセンズランド大学客員研究員。2012年京都産業大学非常勤講師。作品「向陽ロッジハウス」が、平成24年度京都産業大学住宅建築賞金賞受賞。

サタケンシュケ Shunsuke Satake イラストレーター

1981年福岡市生まれ。兵庫県神戸市在住。広告制作会社勤務のグラフィックデザイナーを経て、2007年独立。現在は、アートプロジェクトのアートディレクターとして活動を続ける。主な仕事は広告、書籍等に使用されるインプレッションやショーケースの制作、モチーフは人物や動物、静物等が中心。大学や専門学校などで特聘講師として講義を行うほか、イラストレータユニット「なりゆきサーカス」の一員としても活動中。

佐野 唯 Keiko Sano キュレーター

アシスタントカリグラフィーが得意な主婦として「官房ホーデザイン展」「チャーチズ・イームス 100 images×100 words」など、2007年より「アーティストによる」としシリーズを企画。災害や食文化等社会的なテーマを取り上げてデザインの新たな可能性を示している。石巻の震災復興支援プロジェクト「石巻工房」主要メンバーとしても活動中。巡回展としてKITOで開催した金の卵祭りの企画を担当。

島田 順 Yu Shimoda 建築家

1972年兵庫県神戸市生まれ。京都立命館大学大学院修了。神戸芸術工科大学、京都立命館大学芸術系修了。卒業後、建築設計事務所に就職。設計活動を経て、はばはう亭にて「アーティストの家族からのアーティスト」大学講師として活動。2003年より「アーティストの家族からのアーティスト」大学講師として活動。2003年から2009年9月まで東北工業大学工芸部構造系講師。2009年10月より川口大学准教授。2009年日本建築学会賞(教育)受賞。現在、作室にて、新潟県十日町市・清津川プレセッタ「よっさ」(2009年)、「三井BOS」アートワーク(2011年)、東日本大震災復興支援「失われた街」模型復元プロジェクト(2011年)などを担当。

菴司 紗 Saku Shouji ショップ

コム・ソノワ オーナーシップ

スブニコ・Sputnik アーティスト

1995年東京生まれ。東京・ロンドン在住。神戸芸術工科大学大学院客員教授、経済産業省ケルン・シャウブルグ育成委員会委嘱員。親戚にも作家や美術家の両親のいる母と日本人の父の間に生まれる。ロンドン・アーティスト・カレッジ教習所および経営実習を20歳で卒業後、フリーランスとして活動。その後、英米芸術院RCA Design Interactions・科修士課程を修了。卒業により、テクノロジーによって変化していく人間社会を研究させた映像作品を制作。2009年、原田ゼンザイル美術館の共同プロジェクトで「Open Sailing」2ヶ国、アルス・エレクトロニカで「[the next]idea」(ABの住居)などがある。

SPREAD クリエイティブ・ユニット

小林和太郎と山本泰希により2004年結成されたクリエイティブ・ユニット。2006年SPREAD設立。あらゆる媒体で人気の高い彼らは世界を「SPREAD=広げる」クリエイティブを行なうwww.spread-web.jp。生みの技とストラップ解説で表現する「アートワーク」「Life Style」を2005年より発表。受賞:D&AD賞、red dot design賞、アートディザイン賞、グッドデザイン賞、日本パッケージデザイン賞など。

菅 菜生 Einao Sano ショップ

1975年兵庫県神戸市生まれ。元福屋百貨店店員。「お洋芋君」の二代目で株式会社サンの代表取締役、南町田商店街振興組合議長。神戸市垂水区議会議員、阪神淡路大震災復興推進会員「メイケンババ活用」特別部会委員長、兵庫県東播磨議会議事長、KOBマスツミツシト起業。

曾和 真之 Tomoyuki Sawa ドキュメンテーションデザイナー

1973年奈良県神戸市生まれ。高知大学芸術学部卒業後、千葉大学大学院自然科学研究科斜面地性生物学専攻修了。専門はアーティストとして、主に地図や写真等で斜面地性生物学を表現する。ワークショップや講義のドキュメンテーション・メディア開発を行っている。

た

岬田 謙児 Mitsuhiro Tada デザイナー

グラフィック、パッケージ商品を中心に企画、プロダクトデザイン等、幅広く活動。主な受賞／入選：HKDA賞・蔵王賞、NYADC賞、NYTDC賞、Wakayama IPIB、IPT2012、APD、日本タイガーブラットベストワード、東京TDC、東京ADC、JAGDA、JPDAA、JPCA等。

高尾山まちづくり協議会 Tekodo Hachizukuri Kyogikai

65歳以上の高齢化率が50%を超える高齢者層において、地域の安心・安全の確立を目指すと共に、将来世代に残すに意を用いている。

田嶋 雄徳 Akimori Tagashira プロトタイプデザイナー

神戸芸術工科大学プロトタイプデザイン学科准助教。九里畠原工科大学大学院芸術工芸研究科准助教。専門は家具デザイン、インテリアデザイン。株式会社S&Yにて経験。2010年から神戸芸術工科大学プロトタイプデザイン学科のデザインプロジェクト「Design Soil」ディレクターとしても活動。「Design Soil」2011年、2012年の「ラ・サロード・リ・ローカルサテライト」、そして「Design Tide Tokyo」でも作品発表を行っている。

高橋 俊也 Koji Takahashi デザイナー

1980年大阪府生まれ。2004年東京美術大学学生デザイン学科卒業。神戸芸術工科大学非常勤講師。2005年より株式会社品川企画室で学生企画デザインに勤務し、良品の誕生等の企画開発、プロダクト「いつもの暮らし」の企画開発を行なう。2012年10月より、KITOに就職設立。MUL+クリエイティブプロジェクトの企画運営を務める。

高浦 史子 Koharu Takahashi 建築家

兵庫県芦屋市生まれ。2003年京都大学建築系卒業。東京大学大学院、スイス連邦工科大学留学。Christian Kreuz, HfGH Architectsでの勤務後、2007年同大学博士課程修了。2007年より2010年までHerzog & de Meuron建築。数々のプロジェクトに携わる中、Cropped Starcase(2011年)など個人プロジェクトも手掛けた。2012年高浦史子建築設計事務所設立。神戸に拠点として活動中。

チャイルド・ケモ・ハウス Child Chemo House

小児がん治療中の子どもたちとその家族の、QOL(Quality Of Life-生活の質)に配慮した日本初めての専門施設。自分の家のよう環境で家族が共に暮らしながら小児がん患者が安心して化粧品や护肤品の販売(アートストア)として活動を続ける。主な仕事は広告、書籍等に使用されるインプレッションやショーケースの制作、モチーフは人物や動物、静物等が中心。大学や専門学校などで特聘講師として講義を行うほか、イラストレータユニット「なりゆきサーカス」の一員としても活動中。

塚本 太郎 Taro Tsuchimoto ディレクター

1978年鹿児島生まれ。株式会社リリールトヨコニケーションズを経て独立。広告のプランニング、クリエイティブディレクションを手掛けている。

横根 修 Osamu Yosoneki 建築家

1968年鹿児島生まれ。2002年マイハウス建築設計事務所設立。2003年から2009年9月まで東北工業大学工芸部構造系講師。2009年10月より川口大学准教授。2009年日本建築学会賞(教育)受賞。現在、作室にて、新潟県十日町市・清津川プレセッタ「よっさ」(2009年)、「三井BOS」アートワーク(2011年)、東日本大震災復興支援「失われた街」模型復元プロジェクト(2011年)などを担当。

dot architect 建築家グループ

家庭環境、次代式を目指して2004年共同設立。大手・北越百貨会員に拠点として活動。建築設計だけに留まらず、現場施工、アートプロジェクト、さまざまな企画にもかかわる。

な

内藤 優子 Reiko Naito 建築家

1997年群馬県生まれ。新潟大学工芸部建築学科を経て2002年東京理科大学大学院建築学専攻修了。2002年SWITCHとして活動を開始。2007年から現会社SWITCH建築デザイン事務所共同代表、建築、オフィスなどの建築・内装を手がける。2011年から大手人間開拓大学非常勤講師。2001年新潟病院之森「山の学校」実施設計競技最級G級優秀、2009年住いのリファインメント審査員特別賞受賞。

中田 春昌 Masakuni Nakata インテリアデザイナー

1967年鹿児島市生まれ。1988年よりキャラクターアート、アーティストとして活動。2003年より「アーティストの家族」で作家として活動。2004年日本建築学会賞(教育)受賞。2005年「アーティストの家族」で作家として活動。2006年「アーティストの家族」で作家として活動。2007年「アーティストの家族」で作家として活動。2008年「アーティストの家族」で作家として活動。2009年「アーティストの家族」で作家として活動。2010年「アーティストの家族」で作家として活動。2011年「アーティストの家族」で作家として活動。2012年「アーティストの家族」で作家として活動。2013年「アーティストの家族」で作家として活動。2014年「アーティストの家族」で作家として活動。2015年「アーティストの家族」で作家として活動。2016年「アーティストの家族」で作家として活動。2017年「アーティストの家族」で作家として活動。2018年「アーティストの家族」で作家として活動。2019年「アーティストの家族」で作家として活動。2020年「アーティストの家族」で作家として活動。2021年「アーティストの家族」で作家として活動。2022年「アーティストの家族」で作家として活動。2023年「アーティストの家族」で作家として活動。2024年「アーティストの家族」で作家として活動。2025年「アーティストの家族」で作家として活動。2026年「アーティストの家族」で作家として活動。2027年「アーティストの家族」で作家として活動。2028年「アーティストの家族」で作家として活動。2029年「アーティストの家族」で作家として活動。2030年「アーティストの家族」で作家として活動。2031年「アーティストの家族」で作家として活動。2032年「アーティストの家族」で作家として活動。2033年「アーティストの家族」で作家として活動。2034年「アーティストの家族」で作家として活動。2035年「アーティストの家族」で作家として活動。2036年「アーティストの家族」で作家として活動。2037年「アーティストの家族」で作家として活動。2038年「アーティストの家族」で作家として活動。2039年「アーティストの家族」で作家として活動。2040年「アーティストの家族」で作家として活動。2041年「アーティストの家族」で作家として活動。2042年「アーティストの家族」で作家として活動。2043年「アーティストの家族」で作家として活動。2044年「アーティストの家族」で作家として活動。2045年「アーティストの家族」で作家として活動。2046年「アーティストの家族」で作家として活動。2047年「アーティストの家族」で作家として活動。2048年「アーティストの家族」で作家として活動。2049年「アーティストの家族」で作家として活動。2050年「アーティストの家族」で作家として活動。2051年「アーティストの家族」で作家として活動。2052年「アーティストの家族」で作家として活動。2053年「アーティストの家族」で作家として活動。2054年「アーティストの家族」で作家として活動。2055年「アーティストの家族」で作家として活動。2056年「アーティストの家族」で作家として活動。2057年「アーティストの家族」で作家として活動。2058年「アーティストの家族」で作家として活動。2059年「アーティストの家族」で作家として活動。2060年「アーティストの家族」で作家として活動。2061年「アーティストの家族」で作家として活動。2062年「アーティストの家族」で作家として活動。2063年「アーティストの家族」で作家として活動。2064年「アーティストの家族」で作家として活動。2065年「アーティストの家族」で作家として活動。2066年「アーティストの家族」で作家として活動。2067年「アーティストの家族」で作家として活動。2068年「アーティストの家族」で作家として活動。2069年「アーティストの家族」で作家として活動。2070年「アーティストの家族」で作家として活動。2071年「アーティストの家族」で作家として活動。2072年「アーティストの家族」で作家として活動。2073年「アーティストの家族」で作家として活動。2074年「アーティストの家族」で作家として活動。2075年「アーティストの家族」で作家として活動。2076年「アーティストの家族」で作家として活動。2077年「アーティストの家族」で作家として活動。2078年「アーティストの家族」で作家として活動。2079年「アーティストの家族」で作家として活動。2080年「アーティストの家族」で作家として活動。2081年「アーティストの家族」で作家として活動。2082年「アーティストの家族」で作家として活動。2083年「アーティストの家族」で作家として活動。2084年「アーティストの家族」で作家として活動。2085年「アーティストの家族」で作家として活動。2086年「アーティストの家族」で作家として活動。2087年「アーティストの家族」で作家として活動。2088年「アーティストの家族」で作家として活動。2089年「アーティストの家族」で作家として活動。2090年「アーティストの家族」で作家として活動。2091年「アーティストの家族」で作家として活動。2092年「アーティストの家族」で作家として活動。2093年「アーティストの家族」で作家として活動。2094年「アーティストの家族」で作家として活動。2095年「アーティストの家族」で作家として活動。2096年「アーティストの家族」で作家として活動。2097年「アーティストの家族」で作家として活動。2098年「アーティストの家族」で作家として活動。2099年「アーティストの家族」で作家として活動。2100年「アーティストの家族」で作家として活動。2101年「アーティストの家族」で作家として活動。2102年「アーティストの家族」で作家として活動。2103年「アーティストの家族」で作家として活動。2104年「アーティストの家族」で作家として活動。2105年「アーティストの家族」で作家として活動。2106年「アーティストの家族」で作家として活動。2107年「アーティストの家族」で作家として活動。2108年「アーティストの家族」で作家として活動。2109年「アーティストの家族」で作家として活動。2110年「アーティストの家族」で作家として活動。2111年「アーティストの家族」で作家として活動。2112年「アーティストの家族」で作家として活動。2113年「アーティストの家族」で作家として活動。2114年「アーティストの家族」で作家として活動。2115年「アーティストの家族」で作家として活動。2116年「アーティストの家族」で作家として活動。2117年「アーティストの家族」で作家として活動。2118年「アーティストの家族」で作家として活動。2119年「アーティストの家族」で作家として活動。2120年「アーティストの家族」で作家として活動。2121年「アーティストの家族」で作家として活動。2122年「アーティストの家族」で作家として活動。2123年「アーティストの家族」で作家として活動。2124年「アーティストの家族」で作家として活動。2125年「アーティストの家族」で作家として活動。2126年「アーティストの家族」で作家として活動。2127年「アーティストの家族」で作家として活動。2128年「アーティストの家族」で作家として活動。2129年「アーティストの家族」で作家として活動。2130年「アーティストの家族」で作家として活動。2131年「アーティストの家族」で作家として活動。2132年「アーティストの家族」で作家として活動。2133年「アーティストの家族」で作家として活動。2134年「アーティストの家族」で作家として活動。2135年「アーティストの家族」で作家として活動。2136年「アーティストの家族」で作家として活動。2137年「アーティストの家族」で作家として活動。2138年「アーティストの家族」で作家として活動。2139年「アーティストの家族」で作家として活動。2140年「アーティストの家族」で作家として活動。2141年「アーティストの家族」で作家として活動。2142年「アーティストの家族」で作家として活動。2143年「アーティストの家族」で作家として活動。2144年「アーティストの家族」で作家として活動。2145年「アーティストの家族」で作家として活動。2146年「アーティストの家族」で作家として活動。2147年「アーティストの家族」で作家として活動。2148年「アーティストの家族」で作家として活動。2149年「アーティストの家族」で作家として活動。2150年「アーティストの家族」で作家として活動。2151年「アーティストの家族」で作家として活動。2152年「アーティストの家族」で作家として活動。2153年「アーティストの家族」で作家として活動。2154年「アーティストの家族」で作家として活動。2155年「アーティストの家族」で作家として活動。2156年「アーティストの家族」で作家として活動。2157年「アーティストの家族」で作家として活動。2158年「アーティストの家族」で作家として活動。2159年「アーティストの家族」で作家として活動。2160年「アーティストの家族」で作家として活動。2161年「アーティストの家族」で作家として活動。2162年「アーティストの家族」で作家として活動。2163年「アーティストの家族」で作家として活動。2164年「アーティストの家族」で作家として活動。2165年「アーティストの家族」で作家として活動。2166年「アーティストの家族」で作家として活動。2167年「アーティストの家族」で作家として活動。2168年「アーティストの家族」で作家として活動。2169年「アーティストの家族」で作家として活動。2170年「アーティストの家族」で作家として活動。2171年「アーティストの家族」で作家として活動。2172年「アーティストの家族」で作家として活動。2173年「アーティストの家族」で作家として活動。2174年「アーティストの家族」で作家として活動。2175年「アーティストの家族」で作家として活動。2176年「アーティストの家族」で作家として活動。2177年「アーティストの家族」で作家として活動。2178年「アーティストの家族」で作家として活動。2179年「アーティストの家族」で作家として活動。2180年「アーティストの家族」で作家として活動。2181年「アーティストの家族」で作家として活動。2182年「アーティストの家族」で作家として活動。2183年「アーティストの家族」で作家として活動。2184年「アーティストの家族」で作家として活動。2185年「アーティストの家族」で作家として活動。2186年「アーティストの家族」で作家として活動。2187年「アーティストの家族」で作家として活動。2188年「アーティストの家族」で作家として活動。2189年「アーティストの家族」で作家として活動。2190年「アーティストの家族」で作家として活動。2191年「アーティストの家族」で作家として活動。2192年「アーティストの家族」で作家として活動。2193年「アーティストの家族」で作家として活動。2194年「アーティストの家族」で作家として活動。2195年「アーティストの家族」で作家として活動。2196年「アーティストの家族」で作家として活動。2197年「アーティストの家族」で作家として活動。2198年「アーティストの家族」で作家として活動。2199年「アーティストの家族」で作家として活動。2200年「アーティストの家族」で作家として活動。2201年「アーティストの家族」で作家として活動。2202年「アーティストの家族」で作家として活動。2203年「アーティストの家族」で作家として活動。2204年「アーティストの家族」で作家として活動。2205年「アーティストの家族」で作家として活動。2206年「アーティストの家族」で作家として活動。2207年「アーティストの家族」で作家として活動。2208年「アーティストの家族」で作家として活動。2209年「アーティストの家族」で作家として活動。2210年「アーティストの家族」で作家として活動。2211年「アーティストの家族」で作家として活動。2212年「アーティストの家族」で作家として活動。2213年「アーティストの家族」で作家として活動。2214年「アーティストの家族」で作家として活動。2215年「アーティストの家族」で作家として活動。2216年「アーティストの家族」で作家として活動。2217年「アーティストの家族」で作家として活動。2218年「アーティストの家族」で作家として活動。2219年「アーティストの家族」で作家として活動。2220年「アーティストの家族」で作家として活動。2221年「アーティストの家族」で作家として活動。2222年「アーティストの家族」で作家として活動。2223年「アーティストの家族」で作家として活動。2224年「アーティストの家族」で作家として活動。2225年「アーティストの家族」で作家として活動。2226年「アーティストの家族」で作家として活動。2227年「アーティストの家族」で作家として活動。2228年「アーティストの家族」で作家として活動。2229年「アーティストの家族」で作家として活動。2230年「アーティストの家族」で作家として活動。2231年「アーティストの家族」で作家として活動。2232年「アーティストの家族」で作家として活動。2233年「アーティストの家族」で作家として活動。2234年「アーティストの家族」で作家として活動。2235年「アーティストの家族」で作家として活動。2236年「アーティストの家族」で作家として活動。2237年「アーティストの家族」で作家として活動。2238年「アーティストの家族」で作家として活動。2239年「アーティストの家族」で作家として活動。2240年「アーティストの家族」で作家として活動。2241年「アーティストの家族」で作家として活動。2242年「アーティストの家族」で作家として活動。2243年「アーティストの家族」で作家として活動。2244年「アーティストの家族」で作家として活動。2245年「アーティストの家族」で作家として活動。2246年「アーティストの家族」で作家として活動。2247年「アーティストの家族」で作家として活動。2248年「アーティストの家族」で作家として活動。2249年「アーティストの家族」で作家として活動。2250年「アーティストの家族」で作家として活動。2251年「アーティストの家族」で作家として活動。2252年「アーティストの家族」で作家として活動。2253年「アーティストの家族」で作家として活動。2254年「アーティストの家族」で作家として活動。2255年「アーティストの家族」で作家として活動。2256年「アーティストの家族」で作家として活動。2257年「アーティストの家族」で作家として活動。2258年「アーティストの家族」で作家として活動。2259年「アーティストの家族」で作家として活動。2260年「アーティストの家族」で作家として活動。2261年「アーティストの家族」で作家として活動。2262年「アーティストの家族」で作家として活動。2263年「アーティストの家族」で作家として活動。2264年「アーティストの家族」で作家として活動。2265年「アーティストの家族」で作家として活動。2266年「アーティストの家族」で作家として活動。2267年「アーティストの家族」で作家として活動。2268年「アーティストの家族」で作家として活動。2269年「アーティストの家族」で作家として活動。2270年「アーティストの家族」で作家として活動。2271年「アーティストの家族」で作家として活動。2272年「アーティストの家族」で作家として活動。2273年「アーティストの家族」で作家として活動。2274年「アーティストの家族」で作家として活動。2275年「アーティストの家族」で作家として活動。2276年「アーティストの家族」で作家として活動。2277年「アーティストの家族」で作家として活動。2278年「アーティストの家族」で作家として活動。2279年「アーティストの家族」で作家として活動。2280年「アーティストの家族」で作家として活動。2281年「アーティストの家族」で作家として活動。2282年「アーティストの家族」で作家として活動。2283年「アーティストの家族」で作家として活動。2284年「アーティストの家族」で作家として活動。2285年「アーティストの家族」で作家として活動。2286年「アーティストの家族」で作家として活動。2287年「アーティストの家族」で作家として活動。2288年「アーティストの家族」で作家として活動。2289年「アーティストの家族」で作家として活動。2290年「アーティストの家族」で作家として活動。2291年「アーティストの家族」で作家として活動。2292年「アーティストの家族」で作家として活動。2293年「アーティストの家族」で作家として活動。2294年「アーティストの家族」で作家として活動。2295年「アーティストの家族」で作家として活動。2296年「アーティストの家族」で作家として活動。2297年「アーティストの家族」で作家として活動。2298年「アーティストの家族」で作家として活動。2299年「アーティストの家族」で作家として活動。2300年「アーティストの家族」で作家として活動。2301年「アーティストの家族」で作家として活動。2302年「アーティストの家族」で作家として活動。2303年「アーティストの家族」で作家として活動。2304年「アーティストの家族」で作家として活動。2305年「アーティストの家族」で作家として活動。2306年「アーティストの家族」で作家として活動。2307年「アーティストの家族」で作家として活動。2308年「アーティストの家族」で作家として活動。2309年「アーティストの家族」で作家として活動。2310年「アーティストの家族」で作家として活動。2311年「アーティストの家族」で作家として活動。2312年「アーティストの家族」で作家として活動。2313年「アーティストの家族」で作家として活動。2314年「アーティストの家族」で作家として活動。2315年「アーティストの家族」で作家として活動。2316年「アーティストの家族」で作家として活動。2317年「アーティストの家族」で作家として活動。2318年「アーティストの家族」で作家として活動。2319年「アーティストの家族」で作家として活動。2320年「アーティストの家族」で作家として活動。2321年「アーティストの家族」で作家として活動。2322年「アーティストの家族」で作家として活動。2323年「アーティストの家族」で作家として活動。2324年「アーティストの家族」で作家として活動。2325年「アーティストの家族」で作家として活動。2326年「アーティストの家族」で作家として活動。2327年「アーティストの家族」で作家として活動。2328年「アーティストの家族」で作家として活動。2329年「アーティストの家族」で作家として活動。2330年「アーティストの家族」で作家として活動。2331年「アーティストの家族」で作家として活動。2332年「アーティストの家族」で作家として活動。2333年「アーティストの家族」で作家として活動。2334年「アーティストの家族」で作家として活動。2335年「アーティストの家族」で作家として活動。2336年「アーティストの家族」で作家として活動。2337年「アーティストの家族」で作家として活動。2338年「アーティストの家族」で作家として活動。2339年「アーティストの家族」で作家として活動。2340年「アーティストの家族」で作家として活動。2341年「アーティストの家族」で作家として活動。2342年「アーティストの家族」で作家として活動。2343年「アーティストの家族」で作家として活動。2344年「アーティストの家族」で作家として活動。2345年「アーティストの家族」で作家として活動。2346年「アーティストの家族」で作家として活動。2347年「アーティストの家族」で作家として活動。2348年「アーティストの家族」で作家として活動。2349年「アーティストの家族」で作家として活動。2350年「アーティストの家族」で作家として活動。2351年「アーティストの家族」で作家として活動。2352年「アーティストの家族」で作家として活動。2353年「アーティストの家族」で作家として活動。2354年「アーティストの家族」で作家として活動。2355年「アーティストの家族」で作家として活動。2356年「アーティストの家族」で作家として活動。2357年「アーティストの家族」で作家として活動。2358年「アーティストの家族」で作家として活動。2359年「アーティストの家族」で作家として活動。2360年「アーティストの家族」で作家として活動。2361年「アーティストの家族」で作家として活動。2362年「アーティストの家族」で作家として活動。2363年「アーティストの家族」で作家として活動。2364年「アーティストの家族」で作家として活動。2365年「アーティストの家族」で作家として活動。2366年「アーティストの家族」で作家として活動。2367年「アーティストの家族」で作家として活動。2368年「アーティストの家族」で作家として活動。2369年「アーティストの家族」で作家として活動。2370年「アーティストの家族」で作家として活動。2371年「アーティストの家族」で作家として活動。2372年「アーティストの家族」で作家として活動。2373年「アーティストの家族」で作家として活動。2374年「アーティストの家族」で作家として活動。2375年「アーティストの家族」で作家として活動。2376年「アーティストの家族」で作家として活動。2377年「アーティストの家族」で作家として活動。2378年「アーティストの家族」で作家として活動。2379年「アーティストの家族」で作家として活動。2380年「アーティストの家族」で作家として活動。2381年「アーティストの家族」で作家として活動。2382年「アーティストの家族」で作家として活動。2383年「アーティストの家族」で作家として活動。2384年「アーティストの家族」で作家として活動。2385年「アーティストの家族」で作家として活動。2386年「アーティストの家族」で作家として活動。2387年「アーティストの家族」で作家として活動。2388年「アーティストの家族」で作家として活動。2389年「アーティストの家族」で作家として活動。2390年「アーティストの家族」で作家として活動。2391年「アーティストの家族」で作家として活動。2392年「アーティストの家族」で作家として活動。2393年「アーティストの家族」で作家として活動。2394年「アーティストの家族」で作家として活動。2395年「アーティストの家族」で作家として活動。2396年「アーティストの家族」で作家として活動。2397年「アーティストの家族」で作家として活動。2398年「アーティストの家族」で作家として活動。2399年「アーティストの家族」で作家として活動。2400年「アーティストの家族」で作家として活動。2401年「アーティストの家族」で作家として活動。2402年「アーティストの家族」で作家として活動。2403年「アーティストの家族」で作家として活動。2404年「アーティストの家族」で作家として活動。2405年「アーティストの家族」で作家として活動。2406年「アーティストの家族」で作家として活動。2407年「アーティストの家族」で作家として活動。2408年「アーティストの家族」で作家として活動。2409年「アーティストの家族」で作家として活動。2410年「アーティストの家族」で作家として活動。2411年「アーティストの家族」で作家として活動。2412年「アーティストの家族」で作家として活動。2413年「アーティストの家族」で作家として活動。2414年「アーティストの家族」で作家として活動。2415年「アーティストの家族」で作家として活動。2416年「アーティストの家族」で作家として活動。2417年「アーティストの家族」で作家として活動。2418年「アーティストの家族」で作家として活動。2419年「アーティストの家族」で作家として活動。2420年「アーティストの家族」で作家として活動。2421年「アーティストの家族」で作家として活動。2422年「アーティストの家族」で作家として活動。2423年「アーティストの家族」で作家として活動。2424年「アーティストの家族」で作家として活動。2425年「アーティストの家族」で作家として活動。2426年「アーティストの家族」で作家として活動。2427年「アーティストの家族」で作家として活動。2428年「アーティストの家族」で作家として活動。2429年「アーティストの家族」で作家として活動。2430年「アーティストの家族」で作家として活動。2431年「アーティストの家族」で作家として活動。2432年「アーティストの家族」で作家として活動。2433年「アーティストの家族」で作家として活動。2434年「アーティストの家族」で作家として活動。2435年「アーティストの家族」で作家として活動。2436年「アーティストの家族」で作家として活動。2437年「アーティストの家族」で作家として活動。2438年「アーティストの家族」で作家として活動。2439年「アーティストの家族」で作家として活動。2440年「アーティストの家族」で作家として活動。2441年「アーティストの家族」で作家として活動。2442年「アーティストの家族」で作家として活動。2443年「アーティストの家族」で作家として活動。2444年「

矢野 まさづぐ **Masatosugu Yano** アートディレクター

1974年長野県生まれ。2004年design studio OPENENDS 立設。2007年、株式会社オープンエンドスへ転職実業。グラフィックを足場に、アパルトマンドアプロジェクトの立ち上げなど、ボーダレスに活動の幅を拡張中。最近の主な仕事に「新業名」のロゴなど。ADFEEST2012 SILVER、CCDO Design Award2009 グランプリなどを受賞多数。

山極 博史 **Hirotumi Yamagishi** 家具デザイナー兼家具職人

1973年長野県生まれ。1999年うたたねを立ち上げる。コミュニケーションを大切に、手で考え、手でデザインし、常に肌に近い家具や生活道具を製造している。生糸技術所時代の家具の精神性や、当時のスタイルをデザインしたKINTO スタートの制作、床貼りワークショップなどを通じて、KINTO のカフェの空間づくりに携わる。

吉野 文平 **Bunpei Yonifuji** アートディレクター

1973年長野県生まれ。2000年有限会社文平創設設立。近年は広告アートディレクションとブックデザインを中心に活動。リストレーターとして雑誌の連載や、著作も行う。KINTO を象徴するロゴのデザインだけでなく、アートディレクションを行ない、国内外のピクトグラムも文平原作が担当。

ら

LANDMARK デザイン事務所

2009年に情報会社 studio-L が主催するデザインで社会問題を解決するコンペ「Issue+Design」で最優秀賞を受賞(大賞: 西川克)。2009年にデザイン事務所 LANDMARK を立ち上げ、北陸に事務所拠点を置き、様々な分野の課題にこだるために「発信」や「クリエイティブ」のプロフェッショナルチームとして活動。

Re:S 廉潔事務所

「Re:Standards あらかじめ」ふつうを提案する』をコンセプトに、さまざまな活動についての廉潔事務所。雑誌や書籍の編集を始め、イベントや講演会の企画運営、その他プロダクトのプロデュースやアートディレクションなど、その真ん中に「編集」を軸えて、ものづくりを行なう。最近では秋田県発行の雑誌『のんひり』や、吉本興業発行の『おおかかべ新聞』など、編集を軸にローカルデザインを考える事例が話題に。

わ

和田 真大 **Takahiro Wada** デザイナー

1992年神戸生まれ。大阪デザイナー専門学校卒業。教社のデザイン制作会社を経て、2006年に株式会社キューピックデザインの立ち上げに参画。グラフィックデザインを中心的に、市民参加型等のイベント企画、アートディレクターも担当。2009年より大阪デザイナー専門学校非常勤講師も兼務。

わわプロジェクト **WAWA PROJECT**

東日本大地震復興活動を行う個人、団体と支援者・支援団体を結ぶソーシャルクリエイティブプラットフォーム。被災地域のアラビングラフィックの連携、活動拠点の監修、新規・WEBを活用した地域情報の発信を行い、個と個を結び新たなリサイクルコミュニティの生成をサポートする。運営は、一般社団法人非営利藝術活動団体コマンドNが行なう。

デザイン・クリエイティブセンター神戸

スタッフ

Staff

センター長
芹沢 高志

Executive Director
Takashi Serizawa

副センター長
永田 宏和

Director
Hiroyuki Nagata

→企画事業部

マネージャー、パブリシティリーダー

小森 福見

スタッフリーダー

近藤 健史

スタッフ

加藤 慧

坂本 友里恵

中野 優

藤原 麻衣

松本 ひとみ

→Event and Exhibition Planning Department

Manager and Publicity Leader

Fukumi Komori

Staff Leader

Kenji Kendo

Staff

Kei Kata

Yurie Sakamoto

Yu Nakano

Mai Fujiwara

Hitomi Matsumoto

→施設管理部

宮武 弘

小嶋 信作

大西 淳浩

山本 邦子

→ Facility Management Department

Hiromu Miyatake

Shinsaku Kojima

Atsuhiko Onishi

Kuniaki Yamamoto



KIITO ドキュメントブック 2012

企画・制作・編集 デザイン・クリエイティブセンター神戸
アートディレクション&デザイン 寄藤文平+北谷彩夏（文平銀座）
編集ディレクション 竹内厚（Re:S）
写真 伊東 傑介 p4, 6, 8, 10の1段目, p11, 12, 14(1段目), 16, 17,
23(1段目右), 36, 41(1段目), 52, 54(1段目), 55,
58(1段目), 59(1, 3, 4段目), 60, 70
表 恒匡 p45(2, 4段目)
片山 俊樹 p23(2段目左, 3段目), 37(3, 4段目),
41(3, 4, 5段目), 46(1段目)
木村 耕平 p10(2段目), 18, 23(1段目左),
25, 35(1, 2, 3段目), 49(1段目, 4段目),
54(2段目), 57(2段目右, 3段目), 58(4段目)
森本 奈津美 P13, 20, 22, 26, 27

翻訳 Tim Lemon

2013年3月初版発行
発行 デザイン・クリエイティブセンター神戸
〒651-0082 兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4
info@kiito.jp
http://kiito.jp/

KIITO Documentary Book 2012

Editing: Design and Creative Center Kobe
Art Direction & Design: Bunpei Yorifuji + Ayaka Kitatani / Bunpei Ginza
Editorial Direction: Atsushi Takeuchi / Re:S
Photo: Shunsuke Ito p4, 6, 8, 10(upper), p11, 12, 14(upper), 16, 17, 23(upper right),
36, 41(upper), 52, 54(upper), 55, 58(upper),
59(first, third and fourth photos), 60, 70
Nobutada Omote p45(2, 4段目)
Toshiki Katayama p23(upper second left and third),
37(upper third and fourth),
41(upper third, fourth and fifth), 46(upper)
Kouhei Kimura p10(2段目), 18, 23(upper left), 25,
35(upper first, second and third),
49(upper first and fourth), 54(upper second),
57(upper second right and upper third), 58(upper fourth)
Natsumi Morimoto P13, 20, 22, 26, 27

Translation: Tim Lemon

First published March, 2013
Publisher: Design and Creative Center Kobe
1-4, Onohama-cho, Chuo-ku, Kobe-shi, Hyogo-ken, Japan, 651-0082
info@kiito.jp
http://kiito.jp/
© Design and Creative Center Kobe

KII+O:

DESIGN AND CREATIVE CENTER KOBE

August 8, 2012 → March 31, 2013